

教科名	国語科	科目名	国語総合	単位数	5 単位
対象学年	第1学年 普通科 特別進学コースα	履修形態	必修	授業形態	講義・演習
学習目標	言葉を的確に理解し、表現を味わい、国語への関心を深めるとともに読解力・表現力の向上を目指す。古典においては、それぞれの時代背景や生き方に関心をもち、古文・漢文の響きを味わう。				
進め方	教科書・板書を中心に講義を進める。必要に応じて内容理解のためのプリントを配布して補足したり、プリント等による問題演習や口頭での発表を行って、理解を深めさせるよう考慮する。又、古典においてはシラバスに掲載していない他の関連作品なども取り上げ、古典への関心を更に深めさせる。				
評価の観点・評価方法	規定に従い、1学期・2学期・3学期とも、定期考査の考査点と平常点・出席点で評価する。平常点については観点別評価を踏まえ評価する。				
使用教材	三省堂『精選 国語総合 改訂版』 尚文出版『常用漢字クリア』 その他自主教材				
その他	漢字テストは前もって範囲を提示し、適時実施する。				

年 間 授 業 計 画

月	学習項目	時間数	学習到達目標	
4	1、現代文 随想 ぐうぜん、うたがう、読書のススメ	6	随筆では、自由な発想から生まれたものの考え方を読み取る。古文は古典への興味を喚起し、漢文は訓点の働きを理解して訓読することで、漢文を読む面白さを知る。	
	2、古典 「児のそら寝」 漢文の世界へ	5 5		
5	1、現代文 随想 「待つ」ということ 作文 「私を紹介します」	6 2	随筆では、ゆとりが持てない現代社会について確認させる。また、作文によって表現することの大切さを知る。古文は訳を出来ることを漢文は書き下し文ができる事を目標とする。	
	2、古典 「検非違使忠明」 漢文の構造と訓読の仕方 《中間考査》	5 4		
	6	1、現代文 小説 羅生門 ゴール		9 7
7	2、古典 用言の活用・係り結び 「絵仏師良秀」	2 4	小説では、人物の心情を読み取り、「人間」のありようを探る。また、「ゴール」という題名に込められた意味を考えさせる。古典は文法の基本事項を理解して、文章で慣れる。	
	1、現代文 評論 水の東西 表現「本を紹介しよう」 《期末考査》	4 2		
	2、古典 古文 「かぐや姫の生い立ち」 漢文 「推敲」	3 3		
	8	1、現代文 評論 言語は色眼鏡である		3
9	2、古典 古文 「かぐや姫の成長」	3	評論を読み、言語体系によって思考が変化することを認識させる。また、古典では親しみ深い文章から古文の世界を感じ取らせる。さらに用言の活用について復習する。	
	1、現代文 評論 自然をめぐる合意の設計	5		
	2、古典 古文 「芥川」「東下り」 助動詞の用法	7 6		
	漢文 「漁父之利」	4		
10	1、現代文 詩 旅上・サーカス 《中間考査》	6	詩では作品世界の理解を深め、詩人たちの個性に触れる。古文は「徒然草」を通じて、兼好法師の思想について考えさせる。漢文は、故事成語の面白さを味わえるようにする。	
	2、古典 古文 「つれづれなるままに」 漢文 「借虎威」	6 5		
	11	1、現代文 詩 I was born 崖		8
12	2、古典 古文 「ある人、弓射る…」助動詞の復習 漢文 「蛇足」 《期末考査》	6 3	詩の世界を通じて、作者の人生観や生き様について理解させる。また、古文は助動詞を中心として、文章表現力を高めさせる。漢文は、文章の面白さを理解させる。	
	1、現代文 小説二 青兵衛と瓢箪 表現「新聞に投書してみよう」	4 2		
	2、古典 古文 助動詞の復習 漢文 漢詩八首	3 2		
	1	1、現代文 小説二 青が消える		8
1	2、古典 古文 門出・忘れ貝 漢文 漢詩八首	5 3	小説では、突然大切なものがなくなってしまう哀しみを味わせる。古文は助動詞を意識した訳ができるようにする。また、漢文の句法について、反復して、復習を行う。	
	2	1、現代文 評論二 情報と身体		5
	2、古典 古文 助詞の用法 漢文 漢詩八首 《学年末考査》	9 8		
	3	1、現代文 評論二 「もの」の科学から「こと」の科学へ		7
3	2、古典 古文 文法のまとめ 漢文 句法練習	5 5	現代文は、科学的な考え方が変化した点を認識させる。また、古文・漢文は「文法」「句法」について、総復習をしていき、来年度には自由に文章が読めるように指導する。	

教科名	国語科	科目名	国語総合	単位数	5 単位
対象学年	第1学年 普通科 特別進学コースβ	履修形態	必修	授業形態	講義・演習
学習目標	言葉を的確に理解し、表現を味わい、国語への関心を深めるとともに読解力・表現力の向上を目指す。古典においては、それぞれの時代背景や生き方に関心を持たせ、古文・漢文の響きを味わう。				
進め方	教科書・板書を中心に講義を進める。必要に応じて内容理解のためのプリントを配布して補足したり、プリント等による問題演習や口頭での発表を行って、理解を深めさせるよう考慮する。又、古典においてはシラバスに掲載していない他の関連作品なども取り上げ、古典への関心を更に深めさせる。				
評価の観点・評価方法	規定に従い、1学期・2学期・3学期とも、定期考査の考査点と平常点・出席点で評価する。平常点については観点別評価を踏まえ評価する。				
使用教材	三省堂『精選 国語総合 改訂版』 尚文出版『常用漢字クリア』 その他自主教材				
その他	漢字テストは前もって範囲を提示し、適時実施する。				

年間授業計画

月	学習項目	時間数	学習到達目標	
4	1、現代文 随想 ぐうぜん、うたがう、読書のススメ	6	随筆では、自由な発想から生まれたものの考え方を読み取る。古文は古典への興味を喚起し、漢文は訓点の働きを理解して訓読することで、漢文を読む面白さを知る。	
	2、古典 「児のそら寝」 漢文の世界へ	5 5		
5	1、現代文 随想 「待つ」ということ 作文 「私を紹介します」	6 2	随筆では、ゆとりが持てない現代社会について確認させる。また、作文によって表現することの大切さを知る。古文は訳を出来ることを漢文は書き下し文ができる事を目標とする。	
	2、古典 「検非違使忠明」 漢文の構造と訓読の仕方 《中間考査》	5 4		
	6	1、現代文 小説 羅生門 ゴール		9 7
7	2、古典 用言の活用・係り結び 「絵仏師良秀」	2 4	小説では、人物の心情を読み取り、「人間」のありようを探る。また、「ゴール」という題名に込められた意味を考えさせる。古典は文法の基本事項を理解して、文章で慣れる。	
	1、現代文 評論 水の東西 表現「本を紹介しよう」 《期末考査》	4 2		
8	2、古典 古文 「かぐや姫の生い立ち」 漢文 「推敲」	3 3	評論では、水を通して西洋文化と東洋文化のあり方について考えさせる。古典では用言の練習問題、訓読・書き下し文などの練習問題を通じ、基本事項を確認する。	
	1、現代文 評論 言語は色眼鏡である	3		
	2、古典 古文 「かぐや姫の成長」	3		
9	1、現代文 評論 自然をめぐる合意の設計	5	評論文を通じて、人間と自然のありかたについて論を深める。また、古文では助動詞を扱い、文章が理解できるようにする。漢文は、書き下し文と訳ができるようにする。	
	2、古典 古文 「芥川」「東下り」 助動詞の用法	7 6		
	漢文 「漁父之利」	4		
	10	1、現代文 詩 旅上・サーカス 《中間考査》		6
11	2、古典 古文 「つれづれなるままに」 漢文 「借虎威」	6 5	詩では作品世界の理解を深め、詩人たちの個性に触れる。古文は「徒然草」を通じて、兼好法師の思想について考えさせる。漢文は、故事成語の面白さを味わえるようにする。	
	1、現代文 詩 I was born 崖	8		
	2、古典 古文 「ある人、弓射る…」助動詞の復習 漢文 「蛇足」 《期末考査》	6 3		
12	1、現代文 小説二 青兵衛と瓢箪 表現「新聞に投書してみよう」	4 2	小説を通じて人間関係について考えさせる。また、新聞に投書をする形式によって、文章能力を高める。古文は助動詞の意味を理解させると共に漢文の句法を意識させる。	
	2、古典 古文 助動詞の復習 漢文 漢詩八首	3 2		
	1	1、現代文 小説二 青が消える		8
	2、古典 古文 門出・忘れ貝 漢文 漢詩八首	5 3		
2	1、現代文 評論二 情報と身体	5	評論は「情報リテラシー」について問題意識を喚起させる。古文は助動詞を扱い、正確な訳が出来るようにする。また、漢文は詩を精読し、句法について触れていく。	
	2、古典 古文 助詞の用法 漢文 漢詩八首 《学年末考査》	9 8		
	3	1、現代文 評論二 「もの」の科学から「こと」の科学へ		7
	2、古典 古文 文法のまとめ 漢文 句法練習	5 5		

教科名	国語科	科目名	国語総合	単位数	5 単位
対象学年	第1学年 普通科 進学コース	履修形態	必修	授業形態	講義・演習
学習目標	言葉を的確に理解し、表現を味わい、国語への関心を深めるとともに読解力・表現力の向上を目指す。古典においては、それぞれの時代背景や生き方に関心を持たせ、古文・漢文の響きを味わう。				
進め方	教科書・板書を中心に講義を進める。必要に応じて内容理解のためのプリントを配布して補足したり、プリント等による問題演習や口頭での発表を行って、理解を深めさせるよう考慮する。又、古典においてはシラバスに掲載していない他の関連作品なども取り上げ、古典への関心を更に深めさせる。				
評価の観点・評価方法	規定に従い、1学期・2学期・3学期とも、定期考査の考査点と平常点・出席点で評価する。平常点については観点別評価を踏まえ評価する。				
使用教材	三省堂『明解 国語総合 改訂版』 尚文出版『常用漢字クリア』 その他自主教材				
その他	漢字テストは前もって範囲を提示し、適時実施する。				

年 間 授 業 計 画

月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	随想一 古文入門	ベトナムのコーヒー屋	6	新入生に対して、共感しやすい随筆を文章を読み味わう。また、古文への興味を喚起し、歴史的仮名遣いを意識させる。	始業式
		古文の世界へ	5		
		漢字演習(7級)	5		
5	随想一 古文入門	負け方を習得する	6	勝ちにこだわる現代社会の問題点は何かについて考えを深める。古文では兎平易で興味深い話話に接することで古文に対する親近感を持たせる。	中間考査
		児のそら寝	6		
		漢字演習(7級)	5		
6	小説一 古文入門	とんかつ	9	少年とそれを支える母親、二人を見守る宿の人たちの交流と心情を読み取る。古文では主人公の置かれた状況に身を置いて気持ちを想像させる。	
		検非違使忠明	7		
		漢字演習(6級)	6		
7	漢文入門	古文の世界へ・児のそら寝(6月2時間・7月5時間)	6	漢文を学習する上での基本的な事項について、確認をする。特に、「送り仮名」「訓点」などの原則については、繰り返し演習する。	期末考査
	表現の実践	適切な言葉遣い	6		終業式
8	小説一	オムライス(8月・9月で計8時間)	6	公園で拾った本が男の子の心情にもたらした変化について考える。また、小説中の表現の特徴を捉え、その表現に託された男の子の心情を捉える。	始業式
9	詩 随筆	シリウス・シジミ・校庭で	5	詩の形式に注意し、言葉の中に込められた意味を考察できるようにする。	
		徒然草(公世の二位のせうとに)	8		
10	漢文入門	故事成語	6	我々が普段使っている言葉が、実は漢文から来ていることを理解できるようにする。また、今まで学んだ古典文法を総復習していく。	中間考査
		古典文法	6		
11	評論一 随筆	魚は陸から離れられない	8	論理的な文章を通し、具体例と論旨が理解できるようにする。また、古文では本文に書かれた内容が、現代にも通じるものであることを理解させる。	
		徒然草(高名の木登り)	6		
		漢字演習(4級)	3		
12	漢文入門	虎の威を借る	6	故事成語が現代の日本でも通用する普遍的な話であることを理解する。古典文法は主に動詞の活用について理解する。	期末考査
		古典文法	5		終業式
1	随想二	ツゴイネルワイゼン	8	一人の人間と戦争との関わりをもとに、人間の生き方について考えを深める。文章の構成に着目して出来事を捉え、筆者の思いを読み取る。	始業式
2	随想二	漢字演習(4級)	3		
		蛇足	5		
3	表現の実践	徒然草(丹波に出雲といふ所)	3	古文を読み味わい、話の面白さを理解すると共に、今まで習った古典文法を復習し、特に形容詞・形容動詞を理解できるようにする。	期末考査
		古典文法	9		
		漢字演習(4級)	5		
		手紙の書き方	7	実際に手紙を書き、手紙の書き方、書式に慣れさせる。また、便箋・封筒やはがきを書く上での注意事項を学ばせる。	終業式
		ことわざ・慣用句	5		
		漢字演習(P56～P63)	5		

教科名	国語科	科目名	国語総合	単位数	5 単位
対象学年	第1学年 普通科 総合選択コース	履修形態	必修	授業形態	講義・演習
学習目標	言葉を的確に理解し、表現を味わい、国語への関心を深めるとともに読解力・表現力の向上を目指す。古典においては、それぞれの時代背景や生き方に関心を持たせ、古文・漢文の響きを味わう。				
進め方	教科書・板書を中心に講義を進める。必要に応じて内容理解のためのプリントを配布して補足したり、プリント等による問題演習や口頭での発表を行って、理解を深めさせるよう考慮する。又、古典においてはシラバスに掲載していない他の関連作品なども取り上げ、古典への関心を更に深めさせる。				
評価の観点・評価方法	規定に従い、1学期・2学期・3学期とも、定期考査の考査点と平常点・出席点で評価する。平常点については観点別評価を踏まえ評価する。				
使用教材	三省堂『明解 国語総合 改訂版』 尚文出版『常用漢字クリア』 その他自主教材				
その他	漢字テストは前もって範囲を提示し、適時実施する。				

年 間 授 業 計 画

月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	随想一 古文入門	ベトナムのコーヒー屋	6	新入生に対して、共感しやすい随筆を文章を読み味わう。また、古文への興味を喚起し、歴史的仮名遣いを意識させる。	始業式
		古文の世界へ	5		
		漢字演習(7級)	5		
5	随想一 古文入門	負け方を習得する	6	勝ちにこだわる現代社会の問題点は何かについて考えを深める。古文では兎平易で興味深い説話に接することで古文に対する親近感を持たせる。	中間考査
		兎のそら寝	6		
		漢字演習(7級)	5		
6	小説一 古文入門	とんかつ	9	少年とそれを支える母親、二人を見守る宿の人たちの交流と心情を読み取る。古文では主人公の置かれた状況に身を置いて気持ちを想像させる。	
		検非違使忠明	7		
		漢字演習(6級)	6		
7	漢文入門 表現の実践	古文の世界へ・兎のそら寝(6月2時間・7月5時間)	6	漢文を学習する上での基本的な事項について、確認をする。特に、「送り仮名」「訓点」などの原則については、繰り返し演習する。	期末考査
		適切な言葉遣い	6		終業式
8	小説一	オムライス(8月・9月で計8時間)	6	公園で拾った本が男の子の心情にもたらした変化について考える。また、小説中の表現の特徴を捉え、その表現に託された男の子の心情を捉える。	始業式
9	詩 随筆	シリウス・シジミ・校庭で	5	詩の形式に注意し、言葉の中に込められた意味を考察できるようにする。	
		徒然草(公世の二位のせうとに)	8		
10	漢文入門	故事成語	6	我々が普段使っている言葉が、実は漢文から来ていることを理解できるようにする。また、今まで学んだ古典文法を総復習していく。	中間考査
		古典文法	6		
		漢字演習(5級)	5		
11	評論一 随筆	魚は陸から離れられない	8	論理的な文章を通し、具体例と論旨が理解できるようにする。また、古文では本文に書かれた内容が、現代にも通じるものであることを理解させる。	
		徒然草(高名の木登り)	6		
		漢字演習(4級)	3		
12	漢文入門	虎の威を借る	6	故事成語が現代の日本でも通用する普遍的な話であることを理解する。古典文法は主に動詞の活用について理解する。	期末考査
		古典文法	5		終業式
1	随想二	ツゴイネルワイゼン	8	一人の人間と戦争との関わりをもとに、人間の生き方について考えを深める。文章の構成に着目して出来事を捉え、筆者の思いを読み取る。	始業式
		漢字演習(4級)	3		
		蛇足	5		
2	随想二	徒然草(丹波に出雲といふ所)	3	古文を読み味わい、話の面白さを理解すると共に、今まで習った古典文法を復習し、特に形容詞・形容動詞を理解できるようにする。	期末考査
		古典文法	9		
		漢字演習(4級)	5		
3	表現の実践	手紙の書き方	7	実際に手紙を書き、手紙の書き方、書式に慣れさせる。また、便箋・封筒やはがきを書く上での注意事項を学ばせる。	終業式
		ことわざ・慣用句	5		
		漢字演習(P56～P63)	5		

教科名	地理歴史科	科目名	地理A	単位数	2単位
対象学年	普通科総合選択コース第一学年	履修形態	必修	授業形態	【講義】
a. 科目の目標	「現代世界の地理的諸課題を踏まえて考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い国際社会に生きる日本人としての自覚と資質を養う」という指導要領に示された目標が本科目の目標である。				
b. 学習内容の概要	「地球儀や地図からとらえる現代世界」「人間生活を取り巻く環境」「世界の諸地域の生活・文化」「地球的課題」				
c. 学習方法	教科書、地図帳を活用、分野によってはプリントを用いて学習する。				
d. 評価方法	定期考査・ノート・プリントなどの各課題提出、小テスト、授業態度など				
e. 使用教材	教科書「高等学校新地理A」（帝国書院） 地図帳「新詳高等地図」（帝国書院）				

年間授業計画

月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	留意事項
4	導入学習 1章 地球儀や地図からとらえる現代世界	1節 地球上の位置と国家	2	中学時までの地理的な学習（地図や地球儀の読み取りなど）を教科書に沿って振り返る。	始業式
			2		
			2		
5	2章 人間生活を取り巻く環境	1節 人々の生活と地形	2	各地形の成因や人々の生活との関わりに着目し、理解する。	中間考査
		・世界の大地形・山地・平野の地形	2		
		・海岸の地形 ・氷河、カルスト、乾燥地形	2		
6		2節 人々の生活と気候	2	生活と気候の関わりを踏まえた上で世界の諸地域で見られる気候の特色やそれに関連する人々の生活・文化について理解する。	
		・生活と気候の関わり	2		
		・ケッペンの気候区分	2		
		・熱帯・乾燥帯・温帯 ・亜寒帯・寒帯の生活	2		
7		3節 人々の生活と産業・文化	2	自然的条件を踏まえた上で、世界の諸産業を理解する。 世界の諸地域で見受けられる、言語や宗教などの文化を理解する。	期末考査 スポーツ祭 懇談会 終業式・夏季休業
		・世界の農業、工業	2		
		・文化	2		
8	3章 世界の諸地域の生活・文化	1節 中国の生活・文化	2	中国の自然環境を踏まえ、各分野を理解する。	夏季休業・始業式
		・自然環境			
9		・歴史・農業、工業	2	朝鮮半島の自然環境を踏まえ、各分野を理解する。	
		・都市と格差問題	2		
		2節 韓国の生活・文化	2		
		・自然環境 ・歴史、文化・産業	2		
10		3節 東南アジアの生活文化	2	東南アジアの自然環境を踏まえ、各分野を理解する。 南アジアの自然環境を踏まえ、各分野を理解する。	中間考査 学校祭
		・自然環境・歴史・農業、工業	2		
		・経済発展と生活の変化	2		
		4節 南アジアの生活・文化	2		
11		・自然環境、文化、産業	2	西・中央アジア、北アフリカの自然環境を踏まえ、各分野を理解する。	創立記念日
		5節 中央アジア・西アジア・北アフリカの生活・文化	2		
		・自然環境・文化・石油資源	2		
12		6節 サハラ以南のアフリカの生活・文化	2	サハラ以南の自然環境を踏まえ、各分野を理解する。	期末考査 懇談会・終業式 冬季休業
		・自然環境・歴史、文化	2		
1		7節 ヨーロッパの生活・文化	2	ヨーロッパの自然環境を踏まえ、各分野を理解する。 ロシアの自然環境を踏まえ、各分野を理解する。	冬季休業・始業式
		・自然環境・文化・産業・EU	2		
		8節 ロシアの生活文化	2		
2		9節 アングロアメリカの生活・文化	2	アングロアメリカの自然環境を踏まえ、各分野を理解する。 ラテンアメリカの自然環境を踏まえ、各分野を理解する。	学年末考査
		・自然環境・多文化社会・産業	2		
		10節 ラテンアメリカの生活・文化	2		
3	4章 地球的課題と私たち	11節 オーストラリアの生活・文化	2	オーストラリアの自然環境を踏まえ、各分野を理解する。 各課題について理解を深める。	卒業式 終業式
		・自然環境・産業	2		
		・環境、資源エネルギー問題など	2		

教科名	公民科	科目名	現代社会	授業時間数	2単位
対象学年	普通科特別進学コースαβ 第1学年	履修形態	必修	授業形態	【講義】
a. 科目の目標	現代社会の諸問題を主体的に考察・公正に判断する力、人としての生き方・在り方について考察する力を養う。				
b. 学習内容の概要	1部「わたしたちの生きる社会」2部「現代の社会と人間」3部「ともに生きる社会をめざして」				
c. 学習方法	教科書・現代社会ワークノート・資料集等を用いて現代社会の現状と諸問題を考えさせる。				
d. 評価方法	定期考査・現代社会ワークノート・主体的な学習への取り組み・出席状況				
e. 使用教材	教科書 東京書籍「現代社会313」 東京書籍「現代社会ワークノート」				
f. その他					

年 間 授 業 計 画

月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	留意事項
4	第2章 「日本国憲法と 民主政治」	①民主政治の成立	2	○中学校での学習確認とまとめ ○年間予定の説明と確認 ○学習ノートの活用と確認 ○民主政治の流れと基本的な考え方を理解 ○重要語句のまとめ	始業式
	1 民主政治とは	②基本的人権の確立	2		三瓶合宿
		③世界の政治体制			
5	2 日本国憲法の 基本原理	①日本国憲法と三つの原理	2	○明治憲法との比較から日本国憲法を整理してい ○日本の安全保障の流れを確認し、整理していく。	中間考査
		②③基本的人権の保障(1)(2)	2		
		④新しい人権と人権保障の進展	2		
		⑤平和主義と安全保障	2		
6	3 日本の政治機構	①国会と立法 ②内閣と行政	2	○国会の構成と現状についてまとめていく。 ○行政機構のしくみと仕事を整理していく。 ○裁判制度についての理解(資料参考)	県総体
		③裁判所と司法 ④地方自治			
7	4 現代政治の 特質と課題	①選挙のしくみと課題	2	○地方と国政の関わりをまとめる。 ○選挙の4原則・政党の意義を押さえておく。 ○重要語句のまとめ	期末考査
		②政党と利益集団	2		
		③世論と政治参加	2		
8	第3章 「個人の尊重と 法の支配」	①法の支配と人権	2	○私たちの暮らしが法に支えられていることを意識 させる。 ○重要語句のまとめ ○1学期のまとめ	スポーツ祭 懇談会 終業式
		②市民生活と法			
		③司法と人権			
		④他者とともに生きる			
9	第4章 「現代の経済と 国民福祉」	①経済社会の変容	2	○資本主義経済の成立・流れをまとめる。 ○需給曲線を参考とし価格の役割を考える。 ○経済成長・景気変動についてまとめる。 ○資料を用い、金融の役割を学んでいく。 ○財政の仕組み・役割を考えていく。	始業式
		②現代の企業			
		③市場経済のしくみ			
10	1 経済のしくみ	④国民所得～⑤金融のしくみ～	2	○戦後の日本経済の流れをまとめていく。 ○高度経済成長・バブル経済等の確認。 ○雇用・賃金格差についてもまとめていく。 ○重要語句のまとめ	中間考査 体育祭
		⑥中央銀行の役割と金融自由化	2		
		⑦政府の役割と財政	2		
		①戦後復興と～②産業構造の～	2		
		③経済のバブル～④日本経済～	2		
⑤中小企業と農業	2				
11	第5章 「国際社会と 人類の課題」	①貿易と国際分業	2	○世界経済と日本経済の関わりについて貿易・為 替等の指標や資料を参考とし、経済のグローバル 化を考えていく。 ○重要語句のまとめ	創立記念日 文化祭 期末考査
		②外国為替のしくみと国際収支	2		
		③戦後国際経済の枠組みと～	2		
		④対立と協調～⑤グローバル化～	2		
12	2 国際政治のしくみ～	①国際社会の成り立ち	2	○国連を中心に国際社会を考えていく。 ○重要語句のまとめ ○2学期のまとめ	終業式
		②国際紛争～③国際連合～	2		
		④東西対立～⑤核兵器～	2		
1	「私たちの生きる社会」 1 地球環境と～ 2 科学技術の～ 3 情報化の～	①地球環境～②資源・エネルギー	2	○資料集を中心に環境・科学・情報問題等を考えて ○重要語句のまとめ	始業式
			2		
			2		
2	「現代の社会と人間」 第1章「青年期と～」 1 現代社会と 青年の生き方	①現代社会の特質	2	○青年期の課題を自己の問題として考えさせていき たい。 ○重要語句のまとめ	期末考査
		②現代社会における青年	2		
		③自己形成と社会とのかかわり	2		
3	2 よりよく生きる ことを求めて 3 国際社会の現状と 課題	①～⑦外来思想の受容と～	2	○歴史上の人物の生き方・在り方を参考とし共生社 会の実現を考えていく。 ○3学期のまとめ ○年間のまとめ	卒業式
		①～⑦日本の役割	2		
		※第3部「ともに生きる社会を めざして」	2		

教科名	公民科	科目名	現代社会	単位数	3単位
対象学年	普通科進学コース 第1学年	履修形態	必修	授業形態	講義
a. 科目の目標	現代社会の諸問題を主体的に考察・公正に判断する力、人としての生き方・在り方について考察する力を養う。				
b. 学習内容の概要	1部「わたしたちの生きる社会」 2部「現代の社会と人間」 3部「ともに生きる社会をめざして」				
c. 学習方法	教科書・現代社会ワークノート・資料集等を用いて現代社会の現状と諸問題を考えさせる。				
d. 評価方法	定期考査・現代社会ワークノート・主体的な学習への取り組み・出席状況				
e. 使用教材	教科書 東京書籍「現代社会313」 東京書籍「現代社会ワークノート」				
f. その他					

年 間 授 業 計 画

月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	留意事項	
4	第2部現代の社会と人間			○民主主義の人権保障・権力分立・法の支配など、近代民主主義の原理について理解する。 ○議院内閣制と大統領制を三権相互の関係等の視点から理解するとともに、社会主義国の政治体制について理解する。	入学式	
	第2章	①民主政治の成立	3			
	「日本国憲法と民主政治」	②基本的人権の確立	3			
	1 民主政治とは	③世界の政治体制	3			
5	2 日本国憲法の基本原理	①日本国憲法と三つの原理	3	○日本国憲法成立の経緯とその基本的原理について学び、基本的人権の内容を理解する。 ○憲法第9条に書かれている平和主義の精神、自衛隊のあり方について理解する	中間考査	
		②③基本的人権の保障(1)(2)	3			
		④新しい人権と人権保障の進展	3			
		⑤平和主義と安全保障				
6	3 日本の政治機構	①国会と立法 ②内閣と行政	3	○国会・内閣・裁判所のしくみと役割、諸課題について理解する。 ○地方公共団体の仕事やその課題、さらに地域社会の変化の内容を理解する。 ○民主政治における選挙について、選挙制度、それらをめぐる課題について理解する。	期末考査	
		③裁判所と司法 ④地方自治	3			
	4 現代政治の特質と課題	①選挙のしくみと課題	3			
		②政党と利益集団 ③世論と政治参加	3			
7	第3章 「現代社会と法」	①法の働き	3	○法の支配の意味について理解する。 ○社会生活における法の意義、経済生活や紛争の調整と解決に果たす法の役割を理解する。 ○裁判員制度、司法制度改革について理解する。	終業式	
		②社会生活と法	3			
		③司法と人権	3			
8	第4章 「現代の経済と国民福祉」	①経済社会の変容	3	○資本主義経済の成立とその変容過程、また社会主義思想について理解する。 ○企業の働きとしくみ、社会的責任について理解する。	始業式	
		②現代の企業				
9		③市場経済のしくみ	3	○市場経済のしくみや価格のメカニズムのしくみについて理解する。 ○金融、財政のしくみと役割、直面している課題について理解する。		
		④国民所得～⑤金融のしくみ～	3			
		⑥中央銀行の役割と金融自由化	3			
		⑦政府の役割と財政	3			
10	2 変化する日本経済	①戦後復興と～②産業構造の～	3	○現代経済の変容とその諸問題を戦後日本の経済発展の流れから理解する。 ○豊かな社会の実現をめざしての取り組みと成果、直面している課題について理解する。	中間考査	
		③バブル後の日本経済	3			
	3 豊かな生活の実現	④中小企業と農業	3			
		①自立した消費者～⑤環境保全	3			
11	第5章 「国際社会と人類の課題」	①国際社会の特質	3	○国際政治のしくみと動向を学び、国際連合の意義と諸活動、国際平和の実現にむけての取り組みと成果、諸課題について理解する。	期末考査	
		②国際紛争を避けるしくみ	3			
		③国際連合と～④国際連合の～	3			
		1 国際政治のしくみと動向	⑤冷戦と～⑤軍縮への取り組み			3
12	2 国際経済のしくみと動向	①貿易と国際分業②国際為替～	3	○国際経済のしくみについて学び、今日のグローバル化がもたらす功罪について考える。	終業式	
		③戦後国際経済～④対立と強調～	3			
		⑤グローバル化する経済	3			
1	3 国際社会の現状と課題	①地域統合～②変容する～	3	○国際社会の現状と抱えている課題について学び、日本が果たすべき役割を考える。	始業式	
		③国際的な格差是正				
		④地域紛争～⑤国境～				
		⑥日本の役割				
2	第1章 「青年期と自己形成の課題」	①現代社会と青年の生き方	3	○現代社会に生きる青年として、青年期の特質と課題について理解する。	期末考査	
		1 現代社会と青年の生き方	②青年期の発達課題			3
		2 よりよく生きることを求めて	③自己形成と社会とのかかわり			3
			④進路と生きがいの創造			3
3	第1部「わたしたちの生きる社会」 第3部「ともに生きる社会をめざして」	①哲学～⑦外来思想の受容と～	3	○現代社会の特質と問題点について、哲学的な考え方や科学的な考え方を通して理解する。 ○現代社会の抱える諸問題について様々な観点から考え、自分自身の問題として理解する。	卒業式	
			3			
			3			

教科名	公民科	科目名	現代社会	単位数	3単位
対象学年	普通科総合選択コース 第1学年	履修形態	必修	授業形態	講義
a. 科目の目標	現代社会の諸問題を主体的に考察・公正に判断する力、人としての生き方・在り方について考察する力を養う。				
b. 学習内容の概要	1部「わたしたちの生きる社会」 2部「現代の社会と人間」 3部「ともに生きる社会をめざして」				
c. 学習方法	教科書・現代社会ワークノート・資料集等を用いて現代社会の現状と諸問題を考えさせる。				
d. 評価方法	定期考査・現代社会ワークノート・主体的な学習への取り組み・出席状況				
e. 使用教材	教科書 東京書籍「現代社会313」 東京書籍「現代社会ワークノート」				
f. その他					

年 間 授 業 計 画

月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	留意事項	
4	第2部現代の社会と人間			○民主主義の人権保障・権力分立・法の支配など、近代民主主義の原理について理解する。 ○議院内閣制と大統領制を三権相互の関係等の視点から理解するとともに、社会主義国の政治体制について理解する。	入学式	
	第2章	①民主政治の成立	3			
	「日本国憲法と民主政治」	②基本的人権の確立	3			
	1 民主政治とは	③世界の政治体制	3			
5	2 日本国憲法の基本原理	①日本国憲法と三つの原理	3	○日本国憲法成立の経緯とその基本的原理について学び、基本的人権の内容を理解する。 ○憲法第9条に書かれている平和主義の精神、自衛隊のあり方について理解する	中間考査	
		②③基本的人権の保障(1)(2)	3			
		④新しい人権と人権保障の進展	3			
		⑤平和主義と安全保障				
6	3 日本の政治機構	①国会と立法 ②内閣と行政	3	○国会・内閣・裁判所のしくみと役割、諸課題について理解する。 ○地方公共団体の仕事やその課題、さらに地域社会の変化の内容を理解する。 ○民主政治における選挙について、選挙制度、それらをめぐる課題について理解する。	期末考査	
		③裁判所と司法 ④地方自治	3			
	4 現代政治の特質と課題	①選挙のしくみと課題	3			
		②政党と利益集団	3			
③世論と政治参加		3				
7	第3章「現代社会と法」	①法の働き	3	○法の支配の意味について理解する。 ○社会生活における法の意義、経済生活や紛争の調整と解決に果たす法の役割を理解する。 ○裁判員制度、司法制度改革について理解する。	終業式	
		②社会生活と法	3			
		③司法と人権	3			
8	第4章「現代の経済と国民福祉」	①経済社会の変容	3	○資本主義経済の成立とその変容過程、また社会主義思想について理解する。 ○企業の働きとしくみ、社会的責任について理解する。	始業式	
		②現代の企業				
9		③市場経済のしくみ	3	○市場経済のしくみや価格のメカニズムのしくみについて理解する。 ○金融、財政のしくみと役割、直面している課題について理解する。		
		④国民所得～⑤金融のしくみ～	3			
		⑥中央銀行の役割と金融自由化	3			
		⑦政府の役割と財政	3			
10	2 変化する日本経済	①戦後復興と～②産業構造の～	3	○現代経済の変容とその諸問題を戦後日本の経済発展の流れから理解する。 ○豊かな社会の実現をめざしての取り組みと成果、直面している課題について理解する。	中間考査	
		③バブル後の日本経済	3			
	3 豊かな生活の実現	④中小企業と農業	3			
		①自立した消費者～⑤環境保全	3			
11	第5章「国際社会と人類の課題」	①国際社会の特質	3	○国際政治のしくみと動向を学び、国際連合の意義と諸活動、国際平和の実現にむけての取り組みと成果、諸課題について理解する。	期末考査	
		②国際紛争を避けるしくみ	3			
		③国際連合と～④国際連合の～	3			
		1 国際政治のしくみと動向	⑤冷戦と～⑤軍縮への取り組み			3
12	2 国際経済のしくみと動向	①貿易と国際分業②国際為替～	3	○国際経済のしくみについて学び、今日のグローバル化がもたらす功罪について考える。	終業式	
		③戦後国際経済～④対立と強調～	3			
		⑤グローバル化する経済	3			
1	3 国際社会の現状と課題	①地域統合～②変容する～	3	○国際社会の現状と抱えている課題について学び、日本が果たすべき役割を考える。	始業式	
		③国際的な格差是正				
		④地域紛争～⑤国境～				
		⑥日本の役割				
2	第1章「青年期と自己形成の課題」	①現代社会と青年の生き方	3	○現代社会に生きる青年として、青年期の特質と課題について理解する。	期末考査	
		1 現代社会と青年の生き方	②青年期の発達課題			3
		2 よりよく生きることを求めて	③自己形成と社会とのかかわり			3
			④進路と生きがいの創造			3
3	第1部「わたしたちの生きる社会」 第3部「ともに生きる社会をめざして」	①哲学～⑦外来思想の受容と～	3	○現代社会の特質と問題点について、哲学的な考え方や科学的な考え方を通して理解する。 ○現代社会の抱える諸問題について様々な観点から考え、自分自身の問題として理解する。	卒業式	
			3			
			3			

教科名	数学	科目名	数学 I	単位数	4単位
対象学年	第1学年 特別進学コースα 特別進学コースβ	履修形態	必修	授業形態	講義・演習
科目の目標	大学入試共通テストで7割以上を点数できるように指導し、科目の総合的理解を図るとともに、個別学力試験に通用する十分な基礎力をつける。				
学習内容の概要	文字式の計算、実数、1次不等式、2次方程式について学ぶ(数と式)。関数とグラフの関係、2次関数のさまざまな特徴を調べ、関連して2次方程式・不等式について学ぶ(2次関数)。集合と命題について学ぶ。三角比について学び、図形の性質を量的に調べる。データの分析について学ぶ。				
学習方法	教科書の内容を中心に学習し、問題集で反復演習を行い、入試問題を用いて実戦演習を行う。				
評価の観点・評価方法	規定に従い、一学期・二学期・三学期とも、定期考査の考査点と平常点・出席点で評価する。平常点は、主体的に学習に取り組む姿勢がみられるかにより評価点が決定される。出席点は減点法による。				
使用教材	教科書 特進α:詳説数学I改訂版(啓林館), 特進β:数学I改訂版(啓林館) 問題集 特進α, β:マスグレード改訂版数学I+A(啓林館)				
その他	特進αは平日の課外学習(80分)で、授業より発展した内容の演習、土曜講習(90分)で同様の演習を行う。				

年 間 授 業 計 画

月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	数と式	整式	4 4 4	整式とその加法、減法 整式の乗法 因数分解	始業式 入学式
5		実数	4 4	因数分解 実数 根号を含む式の計算	
6	2次関数	方程式と不等式 関数とグラフ	4 4 4 4	1次不等式 絶対値を含む方程式・不等式 2次方程式 関数	期末考査
7			4 4 4	2次関数のグラフ 2次関数の決定	終業式 夏期講習
8		2次関数の最大・最小	4	2次関数の最大・最小 2次関数の最大・最小	始業式
9		2次関数と方程式・不等式	4 4 4 4	最大・最小の応用 最大・最小の応用 2次関数のグラフとx軸の共有点 2次不等式とその解	
10	集合と命題	集合と命題	4 4 4	2次不等式とその解 2次不等式の応用 集合	中間考査
11	図形と計量	鋭角の三角比	4 4 4 4	命題と集合 逆・裏・対偶 正弦・余弦・正接 三角比の相互関係	期末考査
12		三角比の拡張 正弦定理と余弦定理	4 4 4	0° から180° の範囲にある角の三角比 三角比の相互関係 正弦定理	終業式
1		図形の計量	4 4 4	余弦定理 正弦定理と余弦定理の応用 正弦定理と余弦定理の応用 図形の面積	始業式
2	データの分析	データの整理と分析	4 4 4	空間図形の計量 データの整理 データにおける代表値	期末考査
3		データの相関	4 4 4	データの散らばりと四分位数 分散と標準偏差 散布図 相関係数	終業式

教科名	数学	科目名	数学 I	単位数	3単位
対象学年	第1学年 進学コース	履修形態	必修	授業形態	講義・演習
科目の目標	大学入試共通テストで7割以上を点数できるように指導し、科目の総合的理解を図るとともに、個別学力試験に通用する十分な基礎力をつける。				
学習内容の概要	文字式の計算、実数、1次不等式、2次方程式について学ぶ(数と式)。関数とグラフの関係、2次関数のさまざまな特徴を調べ、関連して2次方程式・不等式について学ぶ(2次関数)。集合と命題について学ぶ。三角比について学び、図形の性質を量的に調べる。データの分析について学ぶ。				
学習方法	教科書の内容を中心に学習し、問題集で反復演習を行い、入試問題を用いて実戦演習を行う。				
評価の観点・評価方法	規定に従い、一学期・二学期・三学期とも、定期考査の考査点と平常点・出席点で評価する。平常点は知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の3観点で加点評価する。出席点は減点法による。				
使用教材	教科書 改訂版新編数学 I (啓林館) 問題集 エスコート改訂版数学 I A (啓林館)				
その他					

年 間 授 業 計 画

月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	数と式	式の計算	3 3 3	整式 整式の加法と減法および乗法 因数分解	始業式 入学式
5		実数 1次不等式 集合と命題	3 3 3	実数 根号を含む式の計算 1次不等式 1次不等式の利用 集合、命題と条件	
6	2次関数		3 3 3 3	命題と証明 関数とグラフ 2次関数のグラフ 2次関数の最大と最小	期末考査
7			3 3 3	問題演習	終業式 夏期講習
8			3	2次関数の決定	始業式
9		2次方程式と2次不等式	3 3 3 3	2次方程式	
10			3 3 3 3	グラフと2次方程式 グラフと2次不等式 問題演習	中間考査
11	図形と計量	三角比	3 3 3	三角比 三角比の相互関係	期末考査
12			3 3 3	三角比の拡張	終業式
1			3 3 3	正弦定理・余弦定理 正弦定理と余弦定理の応用 三角形の面積	始業式
2	データの分析	データの分析	3 3 3 3	データの代表値 データの散らばりと四分位 分散と標準偏差	期末考査
3			3 3 3	データの相関 表計算ソフトによるデータの分析	終業式

教科名	数学	科目名	数学 I	単位数	3単位
対象学年	第1学年 総合選択コース	履修形態	必修	授業形態	講義・演習
科目の目標	進学や就職など多岐にわたる進路希望に対応し、社会生活を送る上で必要となる数学的思考方と基礎的な知識の習得および技能の習熟を図り、それらを的確に活用する能力を伸ばすとともに、数学的な見方や考え方の良さを認識できるようにする。				
学習内容の概要	文字式の計算、実数、1次不等式、2次方程式について学ぶ(数と式)。関数とグラフの関係、2次関数のさまざまな特徴を調べ、関連して2次方程式・不等式について学ぶ(2次関数)。集合と命題について学ぶ。三角比について学び、図形の性質を量的に調べる。データの分析について学ぶ。				
学習方法	教科書の内容を中心に学習し、問題集で反復演習を行う。				
評価の観点・評価方法	規定に従い、一学期・二学期・三学期とも、定期考査の考査点と平常点・出席点で評価する。平常点は、主体的に学習に取り組む姿勢がみられるかにより評価点が決定される。出席点は減点法による。				
使用教材	教科書 改訂版最新数学 I (数研出版) 問題集 プラクティスノート数学 I (数研出版)				
その他					

年 間 授 業 計 画

月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	数と式	式の計算	3 3 3	整式 整式の加法と減法および乗法 因数分解	始業式 入学式
5		実数 1次不等式 集合と命題	3 3 3	実数 根号を含む式の計算 1次不等式 1次不等式の利用 集合、命題と条件	
6	2次関数		3 3 3 3	命題と証明 関数とグラフ 2次関数のグラフ 2次関数の最大と最小	期末考査
7			3 3 3	問題演習	終業式 夏期講習
8			3	2次関数の決定	始業式
9		2次方程式と2次不等式	3 3 3 3	2次方程式	
10			3 3 3 3	グラフと2次方程式 グラフと2次不等式 問題演習	中間考査
11	図形と計量	三角比	3 3 3	三角比 三角比の相互関係	期末考査
12			3 3 3	三角比の拡張	終業式
1			3 3 3	正弦定理・余弦定理 正弦定理と余弦定理の応用 三角形の面積	始業式
2	データの分析	データの分析	3 3 3 3	データの代表値 データの散らばりと四分位 分散と標準偏差	期末考査
3			3 3 3	データの相関 表計算ソフトによるデータの分析	終業式

教科名	数学	科目名	数学A	単位数	2 単位
対象学年	第1学年 特別進学 α コース 特別進学 β コース	履修形態	必修	授業形態	【講義】
科目の目標	大学入試共通テストで7割以上を点数できるように指導し、科目の総合的理解を図るとともに、個別学力試験に通用する十分な基礎力をつける。				
学習内容の概要	集合の基礎、順列・組み合わせについて学んだ後、確率の考え方を学ぶ(場合の数と確率)。約数と倍数、ユークリッドの互除法、整数の性質について学ぶ(整数の性質)。三角形や円など平面図形の性質について学び、論証の方法を身につける(平面図形)。				
学習方法	教科書の内容を中心に問題集で反復演習を行う。				
評価の観点・評価方法	規定に従い、一学期・二学期・三学期とも、定期考査の考査点と平常点・出席点で評価する。平常点20点は授業態度・意欲・提出物の状況・理解度の4項目各5点で評価する。				
使用教材	α コース 教科書 詳説数学A改訂版(啓林館) 問題集 マスグレード改訂版数学 I A(啓林館) β コース 教科書 詳説数学A改訂版(啓林館) 問題集 マスグレード改訂版数学 I A(啓林館)				
その他	α コースは平日の課外学習(80分)で、授業を終えた範囲の演習、3週に2回の土曜講習(90分)で同様の演習を行う。				

年 間 授 業 計 画

月	項 目	学 習 内 容	時 間	学 習 の ポ イ ン ト	主 な 学 校 行 事
4	場合の数と確率	場合の数	2 2 2	集合 集合の要素の個数 場合の数 順列	始業式・入学式
5			2 2	円順列 重複順列 組合せ	中間考査
6		確率	2 2 2 2	事象と確率 確率の基本性質 独立な試行の確率 独立な試行の確率	
7			2 2	反復試行の確率 反復試行の確率	期末考査 終業式 夏期講習
8	整数の性質	約数と倍数	2 2	約数と倍数 最大公約数	始業式
9	整数の性質	ユークリッドの互除法	2 2 2 2	最小公倍数 整数の割り算と商および余り ユークリッドの互除法 ユークリッドの互除法	
10		整数の性質の活用	2 2	1次不定方程式 n進法 分数と小数	中間考査
11			2 2 2 2	分数と小数 問題演習 問題演習 問題演習	
12	図形の性質	平面図形	2 2 2	三角形の辺の比 三角形の四心 三角形の四心	期末考査 終業式
1			2 2 2	チェバの定理、メネラウスの定理 円に内接する四角形 円と直線	始業式
2	図形の性質		2 2 2	方べきの定理 問題演習 2つの円の位置関係 作図	期末考査
3		空間図形	2 2 2	2つの円の位置関係 作図 直線と平面多面体 直線と平面多面体	終業式

教科名	数学	科目名	数学A	単位数	2単位
対象学年	第1学年 進学コース	履修形態	必修	授業形態	講義・演習
科目の目標	大学入試共通テストで7割以上を点数できるように指導し、科目の総合的理解を図るとともに、個別学力試験に通用する十分な基礎力をつける。				
学習内容の概要	集合の基礎、順列・組み合わせについて学んだ後、確率の考え方を学ぶ(場合の数と確率)。三角形や円など平面図形の性質について学び、論証の方法を身につける(平面図形)。約数と倍数、ユークリッドの互除法、整数の性質について学ぶ(整数の性質)。				
学習方法	教科書の内容を中心に学習し、問題集で反復演習を行い、入試問題を用いて実戦演習を行う。				
評価の観点・評価方法	規定に従い、一学期・二学期・三学期とも、定期考査の考査点と平常点・出席点で評価する。平常点は、主体的に学習に取り組む姿勢がみられるかにより評価点が決定される。出席点は減点法による。				
使用教材	教科書 改訂版新編数学A(啓林館) 問題集 エスコート改訂版数学 I A(啓林館)				
その他					

年 間 授 業 計 画

月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	場合の数と確率		2 2 2	集合 集合の要素の個数 場合の数 順列 円順列・重複順列	始業式 入学式
5			2 2	順列 円順列・重複順列 組合せ	
6			2 2 2	事象と確率 確率の基本性質 独立な試行の確率	期末考査
7			2 2 2	反復試行の確率	終業式 夏期講習
8	図形の性質		2	三角形の辺の比 三角形の三心	始業式
9			2 2 2	チェバの定理、メネラウスの定理 円に内接する四角形 円と直線	
10	図形の性質		2 2 2	方べきの定理	中間考査
11			2 2 2	2つの円の位置関係 作図 直線と平面多面体	期末考査
12	整数の性質		2 2 2	約数と倍数 最大公約数と最小公倍数	終業式
1	整数の性質		2 2 2	整数の割り算と商および余り ユークリッドの互除法	始業式
2			2 2 2 2	1次不定方程式 n進法 分数と小数	期末考査
3			2 2 2	問題演習	終業式

教科名	数学	科目名	数学A	単位数	2単位
対象学年	第1学年 総合選択コース	履修形態	必修	授業形態	講義・演習
科目の目標	進学や就職など多岐にわたる進路希望に対応し、社会生活を送る上で必要となる数学的思考方と基礎的な知識の習得および技能の習熟を図り、それらを的確に活用する能力を伸ばすとともに、数学的な見方や考え方の良さを認識できるようにする。				
学習内容の概要	集合の基礎、順列・組み合わせについて学んだ後、確率の考え方を学ぶ(場合の数と確率)。三角形や円など平面図形の性質について学び、論証の方法を身につける(平面図形)。約数と倍数、ユークリッドの互除法、整数の性質について学ぶ(整数の性質)。				
学習方法	教科書の内容を中心に学習し、問題集で反復演習を行う。				
評価の観点・評価方法	規定に従い、一学期・二学期・三学期とも、定期考査の考査点と平常点・出席点で評価する。平常点は、主体的に学習に取り組む姿勢がみられるかにより評価点が決定される。出席点は減点法による。				
使用教材	教科書 改訂版最新数学A(数研出版) 問題集 プラクティスノート数学A(数研出版)				
その他					

年 間 授 業 計 画

月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	場合の数と確率		2 2 2	集合 集合の要素の個数 場合の数 順列 円順列・重複順列	始業式 入学式
5			2 2	順列 円順列・重複順列 組合せ	
6			2 2 2	事象と確率 確率の基本性質 独立な試行の確率	期末考査
7			2 2 2	反復試行の確率	終業式 夏期講習
8	図形の性質		2	三角形の辺の比 三角形の三心	始業式
9			2 2 2	チェバの定理、メネラウスの定理 円に内接する四角形 円と直線	
10	図形の性質		2 2 2	方べきの定理	中間考査
11			2 2 2	2つの円の位置関係 作図 直線と平面多面体	期末考査
12	整数の性質		2 2 2	約数と倍数 最大公約数と最小公倍数	終業式
1	整数の性質		2 2 2	整数の割り算と商および余り ユークリッドの互除法	始業式
2			2 2 2 2	1次不定方程式 n進法 分数と小数	期末考査
3			2 2 2	問題演習	終業式

教科名	理科	科目名	化学基礎	単位数	2 単位
対象学年	第 1 学 年 普通科特進	履修形態	必修	授業形態	講義
科目の目標	自然の事物・現象について、化学的に考察する能力と態度を身に付ける。				
学習内容の概要	自然界における現象が基本的な原理・法則に基づいていることを理解する。				
学習方法	実験や視聴覚教材を利用しながら、教科書の内容を理解する。				
評価の観点・評価方法	規定に従い評価する。				
使用教材	数研出版「新編化学基礎」、数研出版「リードlightノート 化学基礎」				
その他	定期考査に副教材からも出題をする。副教材は各自で自宅学習とする。				

年 間 授 業 計 画

月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	物質の構成	1 混合物と純物質 2 物質とその成分 3 物質の三態と熱運動	9	物質の分類と、元素について理解する。状態変化と化学変化の違いを学び、温度の本質についてもふれる。	始業式
5	物質の構成粒子	1 原子とその構造 2 イオン 3 元素の周期表	9	物質を構成する原子について学び、それから生じるイオンや周期性について理解する。	中間考査
6	粒子の結合	1 イオン結合とイオンからなる物質 2 分子と共有結合 3 共有結合結晶 4 金属結合と金属	10	原子やイオンがどのような力によって結合し物質を作り出しているのかを理解する。また、化学結合に関係する価電子の役割について考える。	期末考査
7					終業式
8	物質と化学反応式	1 原子量・分子量・式量 2 物質質量 3 溶液の濃度 4 化学反応式と物質質量	14	物質の量を表す物質質量について学習し、簡単な計算ができるようにする。化学反応式が表す意味と物質質量の関係进行学习し、化学変化の量的関係について理解し計算できるようにする。化学反応におけるモル濃度の有用性を学習し、質量%濃度との関係を理解する。	始業式
9					
10	酸と塩基の反応	1 酸・塩基 2 水の電離と水溶液のpH 3 中和反応 4 塩	18	酸と塩基の基本的知識を復習し、水素イオンによる新しい酸・塩基の定義を学習する。水素イオンの濃度により酸・塩基の強さを表すpHについて理解する。中和反応のしくみを理解し、その量的関係について計算できるようにする。	中間考査
11					期末考査
12					終業式
1	酸化還元反応	1 酸化と還元 2 酸化剤と還元剤 3 金属の酸化還元反応 4 酸化還元反応の利用	18	酸化還元反応を再定義し、電子移動反応として、統一的に理解させる。また、金属元素の反応を酸化還元の観点から考えさせ、電池や電気分解の原理を理解し、その量的関係について計算できるようにする。	始業式
2					期末考査
3					終業式

教科名	理科	科目名	化学基礎	単位数	2 単位
対象学年	第 1 学 年 普通科進学	履修形態	必修	授業形態	【 講 義 】
科目の目標	自然の事物・現象について、化学的に考察する能力と態度を身に付ける。				
学習内容の概要	自然界における現象が基本的な原理・法則に基づいていることを理解する。				
学習方法	教科書の内容を主に講義によって授業を行う。問題集は各自が自宅学習する。				
評価の観点・評価方法	教務規定に従い評価する				
使用教材	数研出版「新編化学基礎」、数研出版「リードLightノート 化学基礎」				
その他	定期考査に副教材からも出題をする。副教材は各自で自宅学習とする。勉強の仕方やわからない所などは自主的に質問すること。				

年 間 授 業 計 画

月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	物質の構成	1 混合物と純物質	4	物質の分類と、元素について理解する。状態変化と化学変化の違いを学び、温度の本質についてもふれる。	始業式
		2 物質とその成分 3 物質の三態と熱運動	4		
5	物質の構成粒子	1 原子とその構造 2 イオン 3 元素の周期表	8	物質を構成する原子について学び、それから生じるイオンや周期性について理解する。	中間考査
6	粒子の結合	1 イオン結合とイオンからなる物質 2 分子と共有結合 3 共有結合結晶 4 金属結合と金属	12	原子やイオンがどのような力によって結合し物質を作り出しているのかを理解する。また、化学結合に関係する価電子の役割について考える。	期末考査
7					
8	物質と化学反応式	1 原子量・分子量・式量 2 物質質量 3 溶液の濃度 4 化学反応式と物質質量	12	物質の量を表す物質質量について学習し、簡単な計算ができるようにする。化学反応式が表す意味と物質質量の関係を学習し、化学変化の量的関係について理解し計算できるようにする。化学反応におけるモル濃度の有用性を学習し、質量%濃度との関係を理解する。	始業式
9					中間考査
10					酸と塩基の反応
11	終業式				
12	始業式				
1	酸化還元反応	1 酸化と還元 2 酸化剤と還元剤 3 金属の酸化還元反応 4 酸化還元反応の利用	19	酸化還元反応を再定義し、電子移動反応として、統一的に理解させる。また、金属元素の反応を酸化還元の観点から考えさせ、電池や電気分解の原理を理解し、その量的関係について計算できるようにする。	期末考査
2					終業式
3					始業式

教科名	理科	科目名	地学基礎	単位数	2単位
対象学年	第1学年 特別進学	履修形態	必修	授業形態	講義
科目の目標	日常生活や社会と関連を図りながら地球や地球を取り巻く環境への関心を高め、地学的に探究する能力と態度を育てるとともに、地学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。				
学習内容の概要	宇宙の誕生と現在の宇宙の姿、惑星としての地球を理解する(序、5編)。プレート運動の理解を通し、活動的な地球の姿を認識する(第1編)。地球環境や生物の変遷を学ぶ(第2、4編)。大気の構造と地球全体の熱収支や大気・海水の循環について学ぶ(第3編)。自然環境が人間生活とかがわっていることを学ぶ(第4編)。				
学習方法	教材を利用し教科書の内容を理解するとともに、内容確認のための問題演習を行う。				
評価の観点・評価方法	教務規定に従い評価する				
使用教材	数研出版「新編 地学基礎」、数研出版「リードlightノート地学基礎」、浜島書店「新地学図表」				
その他	実践的な問題演習は各自で行う。				

年間授業計画

月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	惑星としての地球	太陽系の中の地球 地球の形と大きさ 地球の構造	8	地球の特徴や、地球の誕生について学ぶ。 地球の大きさに対するスケールを理解する。 固体地球の層構造や構成物質の化学組成を学ぶ。	始業式
5					中間考査
6	活動する地球	プレートの運動とそれに伴う現象 火山	17	プレートの運動について学ぶ。火山活動と地震活動が総合的に一つの仮説にまとめられることについてふれる。マグマの性質と火山の噴火形式と火山地形の関係を理解する。	期末考査
7					終業式
8					始業式
9	活動する地球	地震と地殻変動	10	プレートの沈み込み地帯で起こる地震現象を理解する。それに伴う変動地形と変成作用まで言及する。	
10					中間考査
11	大気と海洋	地球の熱収支 大気と海水の運動	16	大気圏の構造とともに、太陽の放射エネルギーによる地球の熱収支について理解する。 太陽の放射エネルギーや海洋が熱収支のバランスにとって重要であることを理解する。	期末考査
12					終業式
1					始業式
2	宇宙の構成	太陽と恒星 宇宙のすがた	13	太陽の活動のようすなどについて学ぶ。また、恒星の性質を分析する方法や恒星の進化の過程や時間的なスケールを理解する。ビッグバンによる宇宙の誕生を理解し、宇宙の構造を知る。	期末考査
3					地球の環境

教科名	理科	科目名	地学基礎	単位数	2単位
対象学年	第1学年 普通科進学コース		履修形態	必修	授業形態
科目の目標	自然科学の地学分野における一般的な教養を身に付けさせることを目標とする。				
学習内容の概要	地球を取り巻く自然環境と地球が属する太陽系または宇宙について考察する能力と態度を身に付けさせる。				
学習方法	教科書に沿って進め、授業プリントや視聴覚教材を利用しながら、教科書の内容を理解させる。				
評価の観点・評価方法	教務規定に従い評価する。				
使用教材	第一学習社「改訂地学基礎」、第一学習社「改訂ネオパルノート 地学基礎」				
その他	生徒の進路や習熟度に応じて宿題提出をさせる。				

年間授業計画

月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	第1章 宇宙における地球	第1節 宇宙の構成 1.宇宙の始まり 2.宇宙の広がりや銀河の分布	14	・宇宙の始まりを学習し、ビッグバンや宇宙の晴れ上がりについて理解する。・宇宙をつくる元素について、地学的に探究する方法を習得し、科学的な問題解決能力を身に付ける。・宇宙の広がりや銀河の分布を学習し、宇宙の大規模構造について理解する。・太陽のエネルギー源や太陽の表面現象について学習し、太陽の構造について理解する。・木星型惑星の特徴について学習する。・惑星・衛星以外の天体の特徴について学習する。・地球に生命が存在する条件について学習する。・原始地球の誕生過程や原始地球の進化について理解する。・太陽のスペクトルについて学習し、太陽の組成について理解する。・誕生から終末までの太陽の一生について学習し、進化の過程で炭素や酸素が生成されることを理解する。・太陽系の構造と誕生について学習し、太陽系がどのように形成されたのかを理解する。・地球型惑星および月のそれぞれの特徴について学習する。	始業式
5		第2節 太陽 1.太陽の構造 2.太陽の組成 3.太陽の誕生と将来			中間考査
6		第3節 太陽系の中の地球 1.太陽系の構造 2.太陽系の誕生 3.地球型惑星① 4.地球型惑星② 5.木星型惑星 6.惑星・衛星以外の天体 7.生命の惑星・地球			中間考査
7	第2章 活動する地球	第1節 地球の姿 1.地球の形と大きさの測定 2.地球の形と大きさ 3.地球の内部構造 4.地球の構成物質 5.プレートの運動 6.プレートの収束と造山運動	18	・地球の形や大きさについて、エラトステネスの測定方法やフランス学士院の測定方法を学習する。・地球の形や大きさについて学習する。・地球の層構造を学習し、表面と内部の性質の違いを理解する。・地殻や核を構成する物質の違いについて学習し、理解する。・プレートとプレートの動き、トランスフォーム断層、プレートテクトニクスについて理解する。・造山帯の形成と付加体について学習する。・超大陸の変遷と大陸移動について学習する。・世界および日本の火山の分布について学習する。・火山帯でのマグマの発生について学習する。・火山の形と噴火の様式について学習する。・火成岩は、産状によって鉱物の形や組織が異なることを理解する。・火成岩のおもな造岩鉱物の特徴を学習し、火成岩の分類について理解する。・地震のおこるしくみと震源断層の規模と位置について学習する。・地震波や震源の決定方法について学習する。・世界および日本の地震の分布について学習する。・日本付近で発生する地震の種類について学習する。	期末考査
8		第2節 火山活動と地震 1.火山の分布 2.火山の地形 3.火山の噴火と火成岩 4.火成岩の種類 5.地震が発生するしくみ 6.地震の動き 7.地震の発生する地域			始業式
9		第1節 地層や岩石と地質構造 1.地層の形成 2.地層と堆積構造 3.堆積岩 4.地殻の変動 5.変成岩			18
10	第2節 地球環境と生物界の変遷 1.化石 2.地層の対比と固定 3.地質時代とその区分 4.先カンブリア時代① 5.先カンブリア時代② 6.古生代① 7.古生代② 8.中生代 9.新生代① 10.新生代②	期末考査			
11	第1節 地球の熱収支 1.大気圏の構成 2.大気圏の特徴 3.対流圏における水の変化 4.太陽放射と地球放射 5.地球のエネルギー平衡	14	・大気の組成、大気の圧力、大気圏の構造を学習する。・大気中の水、雲の発生について理解する。・太陽放射と地球放射について理解する。・大気のエネルギー収支を理解し、大気の温室効果について考察する。・緯度によるエネルギー収支を学習し、大気の大循環について理解する。・風がおこるしくみについて理解する。・大気の大循環について理解する。・海水の組成と温度について学習し、海洋の層構造を理解する。・海洋表層の循環と鉛直方向の循環について学習する。・水の循環による大気と海洋の相互作用、熱の南北輸送について学習する。・大気の大循環について、地学的に探究する方法を習得し、科学的な問題解決能力を身に付ける。	終業式	
12	第2節 大気と海洋の運動 1.緯度によるエネルギーの収支 2.風 3.大気の大循環 4.海洋の構造 5.海洋の大循環 6.大気と海洋の密接な関係			始業式	
1	第4章 大気と海洋				
2	第5章 地球の環境	第1節 地球環境の科学 1.地球温暖化① 2.地球温暖化② 3.オゾン層の破壊 4.エルニーニョ現象とラニーニャ現象	14	・地球の温暖化について学習する。・オゾン層の破壊について学習する。・エルニーニョ現象とラニーニャ現象について理解する。・自然エネルギーの利用や水資源について理解する。・気団や日本の天気の特徴を理解する。・日本の気象災害とその防災について学習する。・日本の地震災害とその防災について学習する。・日本の火山災害とその防災について学習する。	期末考査
3		第2節 日本の自然環境 1.自然の恩恵 2.季節の変化 3.気象災害と防災 4.地震災害 5.地震による被害の軽減 6.火山災害と防災			

教科名	理科	科目名	地学基礎	単位数	2単位
対象学年	第1学年 普通科総合選択コース		履修形態	必修	授業形態
科目の目標	自然科学の地学分野における一般的な教養を身に付けさせることを目標とする。				
学習内容の概要	地球を取り巻く自然環境と地球が属する太陽系または宇宙について考察する能力と態度を身に付けさせる。				
学習方法	教科書に沿って進め、授業プリントや視聴覚教材を利用しながら、教科書の内容を理解させる。				
評価の観点・評価方法	教務規定に従い評価する。				
使用教材	第一学習社「改訂地学基礎」、第一学習社「改訂ネオパルノート 地学基礎」				
その他	生徒の進路や習熟度に応じて宿題提出をさせる。				

年間授業計画

月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	第1章 宇宙における地球	第1節 宇宙の構成 1.宇宙の始まり 2.宇宙の広がりや銀河の分布	14	・宇宙の始まりを学習し、ビッグバンや宇宙の晴れ上がりについて理解する。・宇宙をつくる元素について、地学的に探究する方法を習得し、科学的な問題解決能力を身に付ける。・宇宙の広がりや銀河の分布を学習し、宇宙の大規模構造について理解する。・太陽のエネルギー源や太陽の表面現象について学習し、太陽の構造について理解する。・木星型惑星の特徴について学習する。・惑星・衛星以外の天体の特徴について学習する。・地球に生命が存在する条件について学習する。・原始地球の誕生過程や原始地球の進化について理解する。・太陽のスペクトルについて学習し、太陽の組成について理解する。・誕生から終末までの太陽の一生について学習し、進化の過程で炭素や酸素が生成されることを理解する。・太陽系の構造と誕生について学習し、太陽系がどのように形成されたのかを理解する。・地球型惑星および月のそれぞれの特徴について学習する。	始業式
5		第2節 太陽 1.太陽の構造 2.太陽の組成 3.太陽の誕生と将来			中間考査
6		第3節 太陽系の中の地球 1.太陽系の構造 2.太陽系の誕生 3.地球型惑星① 4.地球型惑星② 5.木星型惑星 6.惑星・衛星以外の天体 7.生命の惑星・地球			中間考査
7	第2章 活動する地球	第1節 地球の姿 1.地球の形と大きさの測定 2.地球の形と大きさ 3.地球の内部構造 4.地球の構成物質 5.プレートの運動 6.プレートの収束と造山運動	18	・地球の形や大きさについて、エラトステネスの測定方法やフランス学士院の測定方法を学習する。・地球の形や大きさについて学習する。・地球の層構造を学習し、表面と内部の性質の違いを理解する。・地殻や核を構成する物質の違いについて学習し、理解する。・プレートとプレートの動き、トランスフォーム断層、プレートテクトニクスについて理解する。・造山帯の形成と付加体について学習する。・超大陸の変遷と大陸移動について学習する。・世界および日本の火山の分布について学習する。・火山帯でのマグマの発生について学習する。・火山の形と噴火の様式について学習する。・火成岩は、産状によって鉱物の形や組織が異なることを理解する。・火成岩のおもな造岩鉱物の特徴を学習し、火成岩の分類について理解する。・地震のおこるしくみと震源断層の規模と位置について学習する。・地震波や震源の決定方法について学習する。・世界および日本の地震の分布について学習する。・日本付近で発生する地震の種類について学習する。	期末考査
8		第2節 火山活動と地震 1.火山の分布 2.火山の地形 3.火山の噴火と火成岩 4.火成岩の種類 5.地震が発生するしくみ 6.地震の動き 7.地震の発生する地域			始業式
9		第1節 地層や岩石と地質構造 1.地層の形成 2.地層と堆積構造 3.堆積岩 4.地殻の変動 5.変成岩			18
10	第2節 地球環境と生物界の変遷 1.化石 2.地層の対比と固定 3.地質時代とその区分 4.先カンブリア時代① 5.先カンブリア時代② 6.古生代① 7.古生代② 8.中生代 9.新生代① 10.新生代②	期末考査			
11	第1節 地球の熱収支 1.大気圏の構成 2.大気圏の特徴 3.対流圏における水の変化 4.太陽放射と地球放射 5.地球のエネルギー平衡	14	・大気の組成、大気の圧力、大気圏の構造を学習する。・大気中の水、雲の発生について理解する。・太陽放射と地球放射について理解する。・大気のエネルギー収支を理解し、大気の温室効果について考察する。・緯度によるエネルギー収支を学習し、大気の大循環について理解する。・風がおこるしくみについて理解する。・大気の大循環について理解する。・海水の組成と温度について学習し、海洋の層構造を理解する。・海洋表層の循環と鉛直方向の循環について学習する。・水の循環による大気と海洋の相互作用、熱の南北輸送について学習する。・大気の大循環について、地学的に探究する方法を習得し、科学的な問題解決能力を身に付ける。	終業式	
12	第2節 大気と海洋の運動 1.緯度によるエネルギーの収支 2.風 3.大気の大循環 4.海洋の構造 5.海洋の大循環 6.大気と海洋の密接な関係			始業式	
1	第4章 大気と海洋				
2	第5章 地球の環境	第1節 地球環境の科学 1.地球温暖化① 2.地球温暖化② 3.オゾン層の破壊 4.エルニーニョ現象とラニーニャ現象	14	・地球の温暖化について学習する。・オゾン層の破壊について学習する。・エルニーニョ現象とラニーニャ現象について理解する。・自然エネルギーの利用や水資源について理解する。・気団や日本の天気の特徴を理解する。・日本の気象災害とその防災について学習する。・日本の地震災害とその防災について学習する。・日本の火山災害とその防災について学習する。	期末考査
3		第2節 日本の自然環境 1.自然の恩恵 2.季節の変化 3.気象災害と防災 4.地震災害 5.地震による被害の軽減 6.火山災害と防災			

教科名	保健体育	科目名	体育	単位数	2 単位
対象学年	第1学年 普通科男子	履修形態	必修	授業形態	実技
科目の目標	運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。				
学習内容の概要	運動やスポーツの基礎・基本や安全について、しっかり学習し、自分で計画、工夫していける能力を高める。				
学習方法	陸上・マット運動・サッカーを通して、グループ活動の中で協調性を養う事で、関心や意欲を高めるとともに互いに協力して運動ができるようにする。				
評価の観点・評価方法	規定に従い、1学期・2学期・3学期とも実技試験、観点別評価、出席点での評価とする。				
使用教材					
その他					

年 間 授 業 計 画

月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	主な学校行事		
4	陸上	跳躍	2 2 2	自己の能力に応じた課題を 目指し計画的な練習の仕方を 工夫する。	始業式		
5		投てき	2 2 2		中間考査		
6		競走	2 2 2		期末考査		
7		跳躍・投てき・競走	2 2 2		測定。	終業式 夏期補習	
8		マット運動	説明、グループ分け、目標設定		2	自己の能力に応じた目標を立てる。	始業式
9			柔軟運動、筋力トレーニング		2	体の各部分を自分の意志で 動かせるようにする。	学校祭 中間考査
10			柔軟運動、筋力トレーニング バランス系、ジャンプ系		2 2		
11	倒立 評価 前転、後転		2 2 2	マット運動において基礎となる 技術の習得を目指す。			
12	評価 側方倒立回転 評価		2 2 2	期末考査			
1	サッカー	パス	2 2 2	パスの種類を覚える。 正しいパスの仕方を学ぶ。 ルールを学ぶ。	終業式		
2	サッカー	ドリブルシュート	2 2 2	ドリブルとシュートのタイミング に注意しながら練習する。	始業式		
3		ゲーム	2 2 2	協調性を高める学習をする。	入試 期末考査		
3			2 2 2		終業式		

教科名	保健体育	科目名	体育	単位数	2 単位
対象学年	第1学年 普通科女子	履修形態	必修	授業形態	実技
科目の目標	運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。				
学習内容の概要	運動やスポーツの基礎・基本や安全について、しっかり学習し、自分で計画、工夫していける能力を高める。				
学習方法	陸上・創作ダンス・バスケットボールを通して、グループ活動の中で協調性を養う事で、関心や意欲を高めるとともに互いに協力して運動ができるようにする。				
評価の観点・評価方法	規定に従い、1学期・2学期・3学期とも実技試験、観点別評価、出席点での評価とする。				
使用教材					
その他					

年間授業計画

月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	主な学校行事		
4	陸上	跳躍	2 2 2	自己の能力に応じた課題を 目指し計画的な練習の仕方を 工夫する。	始業式		
5		投てき	2 2 2		中間考査		
6		競走	2 2 2		期末考査		
7		跳躍・投てき・競走	2 2 2		測定。	終業式 夏期補習	
8		創作ダンス	班作り・曲選び		2	グループで話し合いをする。 互いに協力して作成・練習する。 6時間に1回発表。少しずつでも 進めていく努力をする。	始業式
9			ダンス作成・練習 中間発表		2 2		学校祭 中間考査
10			ダンス作成・練習 中間発表		2 2		進めていく努力をする。 互いに協力して作成・練習する。
11	ダンス作成・練習 最終発表		2 2				
12	パス		2 2 2	パスの種類を覚える。 正しいパスの仕方を学ぶ。	終業式		
1	バスケットボール	ドリブルシュート	2 2 2	ドリブルとシュートのタイミング に注意しながら練習する。	始業式		
2		ゲーム	2 2 2	協調性を高める学習をする。	入試 期末考査		
3			2 2		終業式		

教科名	保健体育	科目名	保健	単位数	1 単位
対象学年	第1学年 普通科	履修形態	必修	授業形態	講義
科目の目標	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。				
学習内容の概要	わが国の健康について考え、健康を保持増進し、正しい生活行動を選び実践する事や環境を改善していく努力の重要性を理解できるようにする。				
学習方法	各項目を通して学ぶ事によって関心や意欲を高める。				
評価の観点・評価方法	規定に従い、1学期・2学期・3学期とも筆記試験、観点別評価、出席点での評価とする。				
使用教材	VTR(喫煙と健康。飲酒と健康。感染症とエイズ。私達の健康とヘルスプロモーション)				
その他					

年 間 授 業 計 画

月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	健康の考え方と成り立ち	健康の考え方 健康のなりたち	1 1 1	健康の考え方が変化していることを学習する。	始業式
5	私たちの健康のすがた	わが国における健康水準の向上 わが国における健康問題の変化	1 1 1	どのように健康水準が向上したか学ぶ。	中間考査
6	健康に関する意思決定 行動選択と環境づくり	意思決定・行動選択 情報の収集と思考、判断 健康に影響を与える環境	1 1 1 1	健康とはどういう状態か学ぶ。 どのような保健活動や対策があるのか学ぶ。	期末考査
7	生活習慣病とその予防	ヘルスプロモーションにもとづく活動(ビデオも見せる) 生活習慣病	1 1 1 1	健康的な生活習慣とは何か学ぶ。	終業式 夏期補習
8	食事と健康 運動・休養と健康	食事の意義 健康的な食事 運動の意味	1 1 1	健康のとしての食事の意義を学習する	始業式
9	喫煙と健康	休養の意義 喫煙の健康影響 非喫煙者が受ける健康影響 喫煙にたいする対策	1 1 1 1	喫煙の問題をさまざまな角度から考え、どのような対策が必要か学ぶ。	学校祭 中間考査
10	飲酒と健康	アルコールの作用 長期飲酒の健康影響 飲酒にたいする対策	1 1 1	アルコールの問題をさまざまな角度から考え、どのような対策が必要か学ぶ。	中間考査
11	薬物乱用と健康	薬物乱用の健康影響 薬物乱用が引き起こす社会問題。薬物乱用に対する対策	2 1 1	薬物乱用の問題をさまざまな角度から考え、どのような対策が必要か学ぶ。	期末考査
12		飲酒のビデオを見る 喫煙のビデオを見る	1 1		終業式
1	医薬品と健康	医薬品の役割 医薬品の使い方 医薬品の安全性のための予防	1 1 1	医薬品を正しくつかうためのポイントを学ぶ。	始業式
2	感染症とその予防	今日、注意すべき感染症 新たな感染症問題とその予防対策	1 1 1	新たな感染症問題の防止のため自分のやれる事、社会がすべき事を学ぶ。	入試 期末考査
3	エイズとその予防	全人類の課題 エイズへの対策 エイズとその予防のビデオ	1 1 1	エイズの実態について日本、世界の状態を学ぶ。	終業式

教科名	芸術	科目名	書道 I	単位数	2単位
対象学年	第1学年 普通科 全コース	履修形態	必修	授業形態	実技
科目の目標	書道の幅広い活動を通し、書を愛好する心情を育てるとともに 感性を豊かにし、基礎的な能力を伸ばし、表現鑑賞の能力を高める。				
学習内容の概要	基本的な練習の中に コンクール、硬筆書写検定などを取り入れ、幅広い体験を目指す。				
学習方法	生徒の個性が活きるように個々のレベル、関心にて 添削時の一対一の会話、ふれあいを重視し定着を図る。				
評価の観点・ 評価方法	書への関心、意欲、態度、発想や創造的な表現の技能・能力などを勘案したものであるように配慮する。規定に従い、1学期・2学期・3学期とも考查点と平常点と出欠点で評価する。(定期考查は行わないので、毎回清書を考查とみなす。) 書道の場合、平常点を重視したい。				
使用教材	光村図書 書 I				
その他	伯耆大山駅へ展示協力				

年 間 授 業 計 画

月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	書へのいざない	◎書写から芸術への導入 姿勢・執筆法の基本	5	書写から芸術への導入。 道具の扱いについて 臨書について (運筆のリズム、濃淡、潤滑など)	始業式
5	楷書	◎九成宮禮泉銘 ◎孔子廟堂碑	8	作品の生まれた背景、風土、民族性、個性など筆者と作品について考える。基本的な用筆を学びながら様々な書風を理解する。	中間考查
6	楷書	◎雁塔聖教序 ◎顔氏家廟碑 ◎牛欄造像記	8	基本的な用筆を学びながら様々な書風を理解する。 幅広い表現を学び、伝統に根ざした技法を習得する。 (造像記は出来ないクラスもある) (その場合は鑑賞、説明のみ)	期末考查
7	創作	◎命名を書いてみよう ◎漢字かな交じり書	4	今まで習ってきた古典の特徴を生かして書いてみる。 鑑賞、イメージと表現	終業式
8	コンクール参加	◎競書大会 (1年～蘭亭序より)	2	行書の特徴を 結構、用筆、運筆から理解する。「三筆」についても説明。全員に賞の与えられる大会で、練習の成果を試す。	始業式
9	硬筆	◎ペン字検定 (理論)	8	毛筆に飽きる頃、硬筆を取り入れ気分転換を図る。 部首名、書き順など理論の学習。	
10	硬筆	◎ペン字検定 (実技)	15	ひらがな、楷書の基本練習。 行書の書き方を習得する。 ハガキ、ポスターの書き方	中間考查
11	行書	◎風信帖 ◎争坐位稿		空海について知る。 三筆について 唐の四大家(書風を知る)	
12	展覧会参加 生活の中の書	◎書初め大会 ◎年賀状の書き方	5	大きな紙による真剣な取り組みで刺激を与える。 身近にある書への関心を深める。	期末考查 終業式
1	小筆	◎かな文字 ◎実用書(筆ペン)	7	仮名の歴史、基本など「いろは歌」から学ぶ。 御祝、中元など生活の中の身近にある書への関心を高める。	始業式
2	隷書 篆書(篆刻)	◎曹全碑 ◎(自分の印稿を作ってみよう)	16	今までとは全く違う筆遣い(蔵峰)を学び、芸術性を養う。 隷書の書体が色々なところで使われていることを理解する。 集の表紙制作。	期末考查
3	まとめ	◎創作 ◎書道歴の学習		1年間分の作品を自分で作った「こより」で綴じ、自己評価してみる。 プリントで、1年間のまとめをする。	終業式

教科名	外国語（英語）	科目名	コミュニケーション英語Ⅰ	単位数	5単位
対象学年	第1学年 普通科 特別進学コースαβ	履修形態	必修	授業形態	【講義・演習】
科目の目標	①英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身につけることができる。 ②英語を通じて、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を身につけ、それを伸ばすことができる。				
学習内容の概要	目標に基づき、「コミュニケーション英語Ⅰ」の内容のコミュニケーション活動を更に発展させて学習する。				
学習方法	適当な言語の使用場面を適宜取り上げ、有機的に組み合わせて活用する。 その際、聞いたり読んだりした内容について、それについての質問に答えたり、その部分の要約を書いてペアで発表しあったりするなど、総合的な言語活動を行う。				
評価の観点・評価方法	1学期・2学期・3学期とも、定期考査の考査点と平常点・出席点で評価する。 平常点20点は授業態度・意欲・提出物の状況・理解度の4項目各5点で評価する。				
使用教材	教科書『LANDMARK Communication English I』（啓林館） 教科書準拠ワークブック『LANDMARK Communication English I 予習ノート』（啓林館） 参考書『Vision Quest 総合英語 2nd Edition』（啓林館） 参考書準拠ワークブック『Vision Quest English Grammar 47, 2nd Edition・Ultimate New Edition』（啓林館） 単語帳『必携英単語 LEAP』（数研出版）				
その他					
年 間 授 業 計 画					
月	項 目	学 習 内 容	時間	学 習 の ポ イ ン ト	主 な 学 校 行 事
4	中学校の復習 Lesson1 What Can Blood type tell us?	不規則動詞活用表のテスト、それを活用した英作文・発話 血液型に対する日本人と外国人の関心の違いを理解する	1 11	基礎知識を身につける 動名詞、不定詞、接続詞that	始業式 新入生オリエンテーション
5	Lesson2 Curry Travels around the World	カレーのルーツと語源を理解する	11	分詞の後置修飾、現在完了形	中間考査
6	Lesson3 School Uniform	6か国の制服に対する意見の違いを理解する	11	関係代名詞、S+V+O(疑問詞)	期末考査
7	Tips for Listening Reading1	英語の音声の特徴について理解する 物語を読む	1 4	紛らわしい音、アクセント	終業式
8	Lesson4		2		始業式
9	Gorillas and Humans	ゴリラが絶滅しつつある現状とその原因を理解する	11	seemの用法、現在完了進行形	学校祭
10	Lesson5 "gr8" or great?	新種の言語がもたらす影響について理解する	11	Itの形式主語構文、知覚動詞	中間考査
11	Lesson6 Biodiesel Adventure	環境に優しい活動について考える	11	過去完了形、使役動詞	期末考査
12	Lesson7 Eco-tour on Yakushima	屋久島とエコツアーについて理解する	6	前置詞＋関係代名詞 関係副詞	終業式
1	Lesson8 Mariko Nagai, Super Interpreter	通訳者の仕事を知ることを通して、自分の将来就きたい職業について意見交換する	11	関係代名詞what 分詞構文	始業式・実力テスト
2	Lesson9 Space Elevator	宇宙エレベーターで宇宙に行けたら何をしたいかについて意見交換する	11	仮定法過去、倍数表現	期末考査
3	Lesson10 Friendship over time	トルコと日本の友情が生まれた経緯を理解し、自分に置き換えて考え意見交換する	6	関係代名詞の非限定用法 仮定法過去完了	卒業式 終業式

教科名	外国語(英語)	科目名	コミュニケーション英語 I	単位数	3単位
対象学年	第1学年進学コース	履修形態	必修	授業形態	講義
科目の目標	英語を通じて積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な能力を養う。				
学習内容の概要	教科書各課の題材内容やそれに関する情報などを読み聞かして理解し、分かったことやそれに関する自身の意見を書いたり聞き手に伝えたりする。				
学習方法	教科書付属の予習完成ノートを使った題材内容理解。教科書音読練習/リスニング問題/内容に関する質問/ペア・グループワークによる意見交換/作文演習				
評価の観点	既習の知識・技能の活用力/題材を扱う中での思考・判断・表現力/主体的に課題やコミュニケーションに取り組む態度				
評価方法	小テスト・定期考査/発表/課題等の提出/授業に対する態度				
使用教材	LANDMARK Fit English Communication I および(同)予習・完成ノート				
年間授業計画					
月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	主な行事
4	Preparatory Lesson 1~4 Lesson 1	What Can Blood Type Tell Us?	3 3	高校英語に必要な基礎知識を身に付ける。 血液型について読み聞かして理解し、自身の意見を書いたり発表する。	入学式 オリエンテーション
5	Lesson 2	Curry Travels around the World	3 3 3	カレーのルーツや歴史について読み聞かして理解し、自身の意見を書いたり発表する。	中間考査
6	Lesson 3	School Uniforms	3 3 3	学校制服について読み聞かして理解し、自身の意見を書いたり発表する。	期末考査 スポーツ祭
7	Lesson 4	Gorillas and Humans	3 3 3	人間と比較しながらゴリラについて読み聞かして理解し、自身の意見を書いたり発表する。	終業式
8			3		始業式
9	Lesson 5	"gr8" or great?	3 3 3	英語圏の若者の言語について読み聞かして理解し、自身の意見を書いたり発表する。	
10	Lesson 6	Biodiesel Adventure	3 3 3	バスコファイブ号と周生さんについて読み聞かして理解し、自身の意見を書いたり発表する。	中間考査 学校祭
11	Lesson 7	Eco-tour on Yakushima	3 3 3	屋久島のエコツアーについて読み聞かして理解し、自身の意見を書いたり発表する。	
12	Lesson 8	Mariko Nagai, Super Interpreter	3 3 3	通訳長井さんの仕事について読み聞かして理解し、自身の意見を書いたり発表する。	期末考査 終業式
1	Lesson 9	Space Elevator	3 3 3	宇宙エレベーターについて読み聞かして理解し、自身の意見を書いたり発表する。	始業式
2	Lesson 10	Friendship over Time	3 3 3	トルコと日本両国間の友情について読み聞かして理解し、自身の意見を書いたり発表する。	
3	Reading	One Autumn Date	3 3 3	文芸作品鑑賞	卒業式 終業式

教科名	外国語(英語)	科目名	コミュニケーション英語 I	単位数	3 単位
対象学年	第1学年 総合選択コース	履修形態	必修	授業形態	講義
科目の目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な能力を養う。				
学習内容の概要	生徒が情報や考えなどを理解したり伝えたりすることを実践するように具体的な言語の使用場面を設定して言語活動を英語で行う。				
学習方法	聞いたことや読んだことを踏まえた上で話したり書いたりするといった4技能を結びつけた言語活動を通してコミュニケーション能力を育成する。生徒の実態に応じて、問題集などを併用することにより、中学校における基礎的な学習事項を復習整理し、習熟するように指導する。				
評価の観点・評価方法	規定に従い、一学期・二学期・三学期とも、定期考査の考査点と平常点・出席点で評価する。平常点20点は観点別評価を踏まえ、評価する。				
使用教材	All Aboard! English Communication I (東京書籍) All Aboard! English Communication I WORKBOOK (東京書籍) All Aboard! English Communication I BRIDGE WORKBOOK (東京書籍) クラウン チャンクで英単語 Basic (三省堂) ペーシックジーニアス英和辞典 (大修館書店)				
その他					

年 間 授 業 計 画

月	項 目	学 習 内 容	時間	学 習 の ポ イ ン ト	主 な 学 校 行 事
4	All Aboard! Pre-Lesson1・2 WORKBOOK	My name Is Kimura Yui. I like Japanese Comic Books.	3 3 3	be動詞 一般動詞	始業式 新入生オリエンテーション
5	All Aboard! Lesson1 WORKBOOK	This Is My House 世界の家についての紹介を通してその特徴を学習する。	3 3 3 3	過去形	中間考査
6	All Aboard! Lesson2 WORKBOOK	My Favorite Hero 人物の背景や魅力について学習する。	3 3 3 3	進行形:〈be動詞+動詞の-ing形〉	期末考査
7	All Aboard! Lesson3 WORKBOOK	Cool Culture from Japan 日本のマンガについての会話を 通してマンガや文化がどのように 世界に広がっているか学習する。	3 3	助動詞: can, will	終業式 夏期補習
8	All Aboard! Lesson4 WORKBOOK	A Miracle Mirror 海外の観光地について書かれた メールを通してその魅力について 学習する。	3	to不定詞:〈to+動詞の原形〉	始業式
9	All Aboard! Lesson4 WORKBOOK	A Miracle Mirror 海外の観光地について書かれた メールを通してその魅力について 学習する。	3 3 3 3	to不定詞:〈to+動詞の原形〉	
10	All Aboard! Lesson5 WORKBOOK	Finding My Future 高校生の夢や目標について知り、 自分の将来について考える。	3 3 3 3	動名詞:〈動詞の-ing形〉	中間考査
11	All Aboard! Lesson6 WORKBOOK	A Funny Picture from the Edo Period 江戸時代の浮世絵師、歌川国芳 についてのスピーチから学ぶ。	3 3 3 3	受け身:〈be動詞+過去分詞〉	期末考査
12	All Aboard! Lesson7 WORKBOOK	Living on Ice 絶滅の危機に直面しているコウ テイペンギンについての説明文を 読み地球温暖化の影響を考える。	3 3 3	現在完了形:〈have[has]+ 過去分詞〉	終業式
1	All Aboard! Lesson8 WORKBOOK	Building Trust in Space 国際宇宙ステーションの船長とな った若田光一についての情報を 読み、職務に対する考えを学ぶ。	3 3 3	itの用法	始業式
2	All Aboard! Lesson9 WORKBOOK	Pigs from across the Sea 第二次世界大戦後の沖縄の惨 状とそれを救おうとしたハワイの 沖縄出身日系アメリカ人に学ぶ。	3 3 3 3	関係代名詞: who, which	期末考査
3	All Aboard! Lesson10 WORKBOOK	I Am Malala 学校で教育を受ける権利を求め て立ち上がった少女マララと彼女の 考えについて学ぶ。	3 3 3	比較表現: 形容詞の原級・ 比較級・最上級	終業式

教科名	外国語（英語）	科目名	英語表現 I	単位数	2 単位
対象学年	第 1 学年 特別進学コース α 進学コース	履修形態	必修	授業形態	講義
科目の目標	① 情報や考えなどを、場面や目的に応じて英語で書く能力を更に伸ばすこと。 ② この能力を活用して積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てること。				
学習内容の概要	生徒が情報や考えなどの送り手や受け手になるように具体的な言語の使用場面を設定する。その場面や目的に応じて、読み手に理解されるように書くこと。				
学習方法	聞くこと、話すことおよび読むことも有機的に関連付けた活動を行いながら、より豊かな内容やより適切な形式で書けるように学習する。				
評価の観点・評価方法	規定に従い、一学期・二学期・三学期とも、定期考査の考査点と平常点・出席点で評価する。平常点20点は観点別評価を踏まえ、評価する。				
使用教材	Vision Quest English Expression I Standard - Keirinkan				
その他					

年 間 授 業 計 画

月	項 目	学 習 内 容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	Lesson 1	Let's have lunch together sometime.	2 2	Introductions Intonation Backchannel responses Types of sentences	始業式 新入生オリエンテーション
5	Lesson 2	Are you interested in Japanese anime?	2 2 1 2	Interests Rhythm Rephrasing Changing the subject Sentence patterns and verbs	中間考査
6	Lesson 3	I'm going to Okinawa with my family.	2 2 2 2	Travel Vowels Making plans / scheduling Tense	期末考査
7	Lesson 4	I hear you've joined the soccer team.	2 2 2	Sports Consonants Stating causes or reasons Perfect aspect	終業式
8	Lesson 5	Can you tell me what ammitsu is like?	2 2	Eating out Katakana words Asking for permission Asking favors Auxiliary Verbs	始業式
9	Lesson 6	I'm so glad I can see the Sydney Opera House.	2 2 2 2	Sightseeing Pronunciation of numbers Expressing pleasure / surprise Passive voice	
10	Lesson 7	It's very nice of you to say so.	2 1 2 2	Socializing Word stress Thanking Apologizing Infinitives	中間考査
11	Lesson 8	How about going to see a musical?	2 2 2 2	Pastimes Sound links Inviting someone Making offers Gerunds	期末考査
12	Lesson 9	I'm for school uniforms.	2 2 2	Rules Agreeing / Disagreeing Participles	終業式
1	Lesson 10	How do you spend Christmas?	2 2 2	Cultures Explaining Relative clauses	始業式
2	Lesson 11	Did you watch the debate on TV last night?	2 2 2 2	Social problems Asserting Comparison	
3	Lesson 12	I wish my parents were more understanding.	2 2 2	Personal problems Giving advice Subjunctive	卒業式 終業式

教科名	外国語（英語）	科目名	英語表現 I	単位数	2 単位
対象学年	第1学年 総合選択コース	履修形態	必修	授業形態	講義
科目の目標	①英語を通じて積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身につける。 ②英語を通じて情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な能力を身につける。				
学習内容の概要	教科書及びその関連した言語材料を用い、4領域を総合的、有機的に関連付けたコミュニケーション活動を行う。				
学習方法	文法事項の形態から伝達の意味内容に発展できるよう、運用すべく多くの場面を通して生きた英語運用能力を身に付ける。				
評価の観点・ 評価方法	規定に従い、一学期・二学期・三学期とも、定期考査の考査点と平常点・出席点で評価する。平常点20点は観点別評価を踏まえ、評価する。 ※平常点のうち、スピーチの評価の比重を大きくする。				
使用教材	Grove English Expression I (文英堂)				
その他	This year will include more conversation along with phonics, reading and spelling.				

年 間 授 業 計 画

月	項 目	学 習 内 容	時間	学 習 の ポ イ ン ト	主 な 学 校 行 事
4	Lesson 1,2 English Conversation Phonics	A new school year begins. Meet my best friend.	2 2	The basic concept of the subject and verb. First person and third person usage.	始業式 新入生オリエンテーション
5	Lesson 3,4 English Conversation Phonics	Wake up! Have a nice weekend!	2 2 2	How to use verbs with present tense. Question practice.	中間考査
6	Lesson 5,6 How to make a speech Phonics Rules	You can contact us by e-mail. What kind of town do you live in?	2 2 2 2	How to use verbs in the positive and negative forms. Advice and Commands. Reasoning.	
7	Lesson 7 Conversation Phonics → sound blends	Summer is here!	2 2 2	Practice of the subject, verb, object.	期末考査 終業式
8	Lesson 8 Spelling practice	What's new?	2	Present and past tense. Present perfect, past perfect.	始業式
9	Lesson 9,10 How to make a speech(2)	What are you reading? Let's have lunch.	2 2 2 2	Present perfect, past perfect with connecting verbs. Present tense using -ing. Ex. running	
10	Lesson 11,12 Propositions	Do you like sports? Do you have any pets?	2 2 2 2	Usage of -er ;more than, -est;the most. Sentences using the present form.	中間考査
11	Lesson 13,14 English Conversation	What are your hobbies? Traveling is fun.	2 2 2 2	Verbs used with the present form. The usage of verbs and prepositions (future, SVO)	
12	Lesson 15 Spelling quiz	I'll take this one.	2 2 2	Using the subject verb and object for future predictions and hopes.	期末考査 終業式
1	Lesson 16,17 How to make a speech (3)	Let's eat out. Let's protect the environment.	2 2 2	The usage of What, Where, When, Which, Why, How. Prepositions with verbs.	始業式
2	Lesson 18,19 Proposition practice	Do you like movies? Winter has come!	2 2 2 2	The practice of who, whom, whose, that, which, explanation form.	期末考査
3	Lesson 20 Reading practice	Are you ready for the exam?	2 2 2	Subject, Verb, Object usage relating to conditions.	終業式

教科名	家庭	科目名	家庭基礎	単位数	2 単位
対象学年	第1学年 普通科	履修形態	必修	授業形態	講義・実習
科目の目標	人の一生と家族・福祉, 衣食住, 消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、家庭生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。				
学習内容の概要	ともに生きる社会をめざして 人の一生と家族・家庭・福祉 自立した生活をめざして 生活の自立と健康・安全				
学習方法	・新聞等で社会の動きを把握するとともに、自分の家庭及び地域の実態にも目を配り、そこに存在する生活課題を見つけ、課題意識を持つ。 ・問題解決の過程を大切に、授業で身に付けた知識や技術を日常生活の中で生かし、日々の生活改善、充実に努める。				
評価の観点・ 評価方法	規定に従い、定期考査の考査点と平常点・出席点で評価する。平常点は観点別評価による。				
使用教材	「家庭基礎 ともに生きる・持続可能な未来つくる」(第一学習社), 課題プリント				
その他					

年間授業計画

月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	1章 これからの生き方と家族	第1節 青年期を生きる	2	人の一生を生涯発達の視点でとらえ、家族・家庭の意義を理解し、家族の一員としての意識を持つ。	始業式
		第2節 家族・家庭と社会とのかかわり	4		
5	2章 次世代をはぐくむ	第1節 子どもの発達	3	子どもの発達、保育、福祉をとおして、健全な発達を支える親や社会の役割を理解し、保育への関心を深める。	
		第2節 親の役割	2		
		第3節 子育て支援と福祉	2		
6	3章 充実した生涯へ	第1節 高齢期を生きる	4	高齢者に対する正しい認識から介護の基礎など体験的な学びと役割を知る。	
		第2節 高齢社会を支えあう	3		
7	4章 ともに生きる	第1節 社会保障制度と福祉	4	くらしを支える福祉のあり方を理解する。	期末考査 スポーツ祭 終業式
		第2節 ともに生きる社会をめざして	3		
8	5章 食べる	第1節 人の一生と食事	3	栄養・食品・調理・食品衛生などに関する基礎的な知識と技術を習得し、家族の食生活を健康で安全に営むことができるようにする。	始業式
9	5章 食べる	第2節 栄養と食品	8		
10	5章 食べる	第3節 食生活の安全のために	4		
		第4節 食生活をデザインする	4	学校祭 中間考査	
11	6章 装う	第1節 人の一生と被服	4	衣服の機能や着装、材料などの基礎的な知識と技術を習得し、家族の衣生活を健康で快適に営むことができるようにする。	
		第2節 被服材料と管理	4		
12	7章 住まう	第1節 人の一生と住まい	3	住居の機能、住生活と健康、安全などに関する基礎的な知識と技術を学び、家族の住生活を健康で快適に営むことができるようにする。	期末考査 終業式
		第2節 住生活の計画と選択	3		
1	8章 経済生活を営む	第1節 私たちの暮らしと経済 第2節 消費者問題を考える 第3節 持続可能な社会をめざして	2 2 2	18歳成人となることで起こりうる契約トラブルと責任、消費者保護について学び、消費者として責任をもって行動できるようにする。	始業式
2	9章 生活をデザインしよう	これからの生活を考える	6	家庭科の学習から課題を見つけ生活に生かす。	学年末考査
3	10章 生活の充実・向上をめざして	「ホームプロジェクト」と「学校家庭クラブ活動」	6 78		終業式

教科名	情報	科目名	社会と情報	単位数	2
対象学年	第1学年 普通科	履修形態	必修	授業形態	講義・実習
科目の目標	情報の特徴と情報化が社会に及ぼす影響を理解させ、情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して情報を収集、処理、表現するとともに効果的にコミュニケーションを行う能力を養い、情報社会に積極的に参画する態度を育てる。				
学習内容の概要	<ul style="list-style-type: none"> 情報の活用と表現 情報通信ネットワークとコミュニケーション 情報社会の課題と情報モラル 				
学習方法	教室での講義及びコンピュータ室における実習				
評価の観点・評価方法	実技または筆記のいずれかの方法による定期考査、小テスト、課題の提出等により評価していく。				
使用教材	教科書 実教出版『最新社会と情報』新訂版 問題集 実教出版『完全準拠 最新社会と情報 学習ノート』 補足説明・参考資料となるプリント				

年間授業計画

月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	情報社会と私たち	情報社会と情報	16	<ul style="list-style-type: none"> 情報や知識についての意味を理解する。 情報のデジタル化によるコミュニケーションの変化を理解する。 情報化が人類に利益と幸福をもたらしていることについて理解する。 情報化の「影」について身近な例で理解する。 	入学式
5		情報とメディア		<ul style="list-style-type: none"> 情報の残存性、複製性、伝播性等情報社会における情報の特徴について理解する。 情報とメディアの関係、メディアの分類を理解する。 各表現メディアの特性について理解する。 マスメディアやインターネットなど、情報メディアの特性を理解する。 記録メディア、通信メディアなど伝達メディアの特性を理解する。 情報の信ぴょう性、信頼性について理解する。 メディアリテラシーの意味を理解する。 CMなどメディアから受け取る情報を分析して発信者の意図を理解する。 情報伝達における適切なメディアの選択について理解する。 	中間考査 県総体
6	情報機器とデジタル表現	情報モラルと社会のルール	11	<ul style="list-style-type: none"> 個人情報保護の意味と個人情報保護法について理解する。 個人情報漏洩の実態や防止対策について理解する。 メールやSNSを利用する際のモラルとマナーについて理解する。 有害サイト、チェーンメール等、特に携帯電話利用の注意点を理解する。 知的財産権の構成について理解する。 産業財産権の種類と内容について理解する。 著作権の構成と各権利の内容、および例外規定について理解する。 著作権の侵害事例について理解し、著作権法を守る態度を身につける。 	期末考査 期末考査 スポーツ祭 懇談会
7		情報機器とデジタル		<ul style="list-style-type: none"> 情報機器の種類と特徴、インターフェースについて学ぶ。 デジタルカメラの原理や画像・映像の処理について理解する。 アナログとデジタルの意味について理解する。 デジタル化のメリットについて理解する。 情報を2進数で表現することについて理解する。 情報量の概念と単位について理解する。 2進数、10進数、16進数の相互変換ができるようにする。 文字のデジタル表現について理解する。 音声の標本化、量子化、符号化について理解する。 周波数・周期の関係や標本化定理について理解する。 デジタルでのカラー表現の原理について学ぶ。 画像のデジタル化の仕組みと、解像度と階調と画質の関係を理解する。 図形のデジタル表現について理解する。 動画と立体のデジタル表現について学ぶ。 音声のデータ量を求めることができるようにする。 静止画・動画のデータ量を求めることができるようにする。 	
8	表現と伝達	表現の工夫	20	<ul style="list-style-type: none"> 情報伝達する際の留意点について学ぶ。 チラシや案内状の作成を通じてわかりやすい情報伝達について学ぶ。 企画書の作成を通じて、文字・表・図形・画像などを工夫して利用する。 	始業式
9		表計算ソフトの利用		<ul style="list-style-type: none"> 表計算ソフトへのデータの入力方法について実習で学ぶ。 絶対参照、相対参照の使い分けについて実習で学ぶ。 表計算ソフトウェアを利用して、データの並べ替えができるようにする。 表計算ソフトを利用して、データの抽出ができるようにする。 表計算ソフトの関数の利用について理解する。 	
10		プレゼンテーション		<ul style="list-style-type: none"> よく利用する関数を利用してデータの統計や条件のある計算を実習で習得させる。 各種のグラフとその特徴について学び、表計算ソフトを使ってグラフを作成する。 プレゼンテーションの実施の流れについて学ぶ。 プレゼンテーションのリハーサルや実施上の留意点について理解する。 プレゼンテーションの評価方法について学ぶ。 静止画と動画、画像と音声の利用効果を理解する。 	
11	コミュニケーションとネットワーク	コミュニケーション	15	<ul style="list-style-type: none"> 技術の進歩によるメディアの発達史について理解する。 メディアの変遷によるメリット・デメリットについて理解する。 発信者と受信者の人数・位置関係によるコミュニケーションの分類について理解する。 同期・非同期によるコミュニケーションの分類について理解する。 メールやメッセージングアプリを利用したコミュニケーションと留意点について理解する。 	期末考査 懇談会 終業式
12		ネットワーク		<ul style="list-style-type: none"> 回線交換方式とパケット交換方式の違いについて理解する。 パケット交換方式の長所と短所について理解する。 コミュニケーションを行うときのプロトコルについて学ぶ。 TCP/IPについて理解する。 クライアントサーバシステムについて学ぶ。 IPアドレスやドメインについて学び、実習でIPアドレスを確かめる。 WWWについて学び、ブラウザでWebページを表示する仕組みについて理解する。 電子メールの仕組みについて学ぶ。 地図情報、動画配信サービスなどのインターネットサービスについて学ぶ。 転送速度とデータ量の基本的な計算ができるようする。 情報を正確かつ効率的に転送する工夫について理解する。 デジタル情報の圧縮について理解する。 	
1	情報社会と問題解決	情報セキュリティ	16	<ul style="list-style-type: none"> コンピュータウィルスの種類や被害の状況、およびその対策について理解する。 情報の暗号方式について理解する。 デジタル署名、電子すかし等のセキュリティ技術の方法について理解する。 企業や組織の情報セキュリティ対策の必要性を理解する。 情報セキュリティポリシーの目的・内容について学ぶ。 	始業式 推薦・一般入試
2		情報システムと人間		<ul style="list-style-type: none"> 座席予約やPOS、行政や企業の情報システムでの仕組みと働きについて学ぶ。 クラウドコンピューティングの概要を知る。 アクセシビリティについて事例で学ぶ。 情報の受け手のこと考えた情報表現やユーザビリティの工夫について考える。 サイバー犯罪の種類と具体例を理解し、受信者のリスクや対策について考える。 インターネット上の情報を利用する際のリスクについて理解させる。 	一般入試 学年末考査
3		問題解決		<ul style="list-style-type: none"> 問題解決の過程を理解するとともに、問題解決のための手段の選択について考える。 ブレインストーミング、KJ法などアイデアの収集と分類について学ぶ。 データの統計処理とグラフ化、およびグラフを利用した分析について学ぶ。 アンケートの回答方法について学ぶ。 テキストマイニングなどテキストデータの分析方法について理解する。 	卒業式 終業式
3	情報発信	<ul style="list-style-type: none"> Webサイトの制作の流れを理解する。 Webサイトの文字の表示、画像の表示、リンクの仕組みを理解する。 Webサイトの評価方法について学ぶ。 CSSの利用方法や意義について学ぶ。 			